

# 1号機 ガレキ撤去作業時の ガレキ落下防止・緩和対策の進捗状況

2020/7/3

**TEPCO**

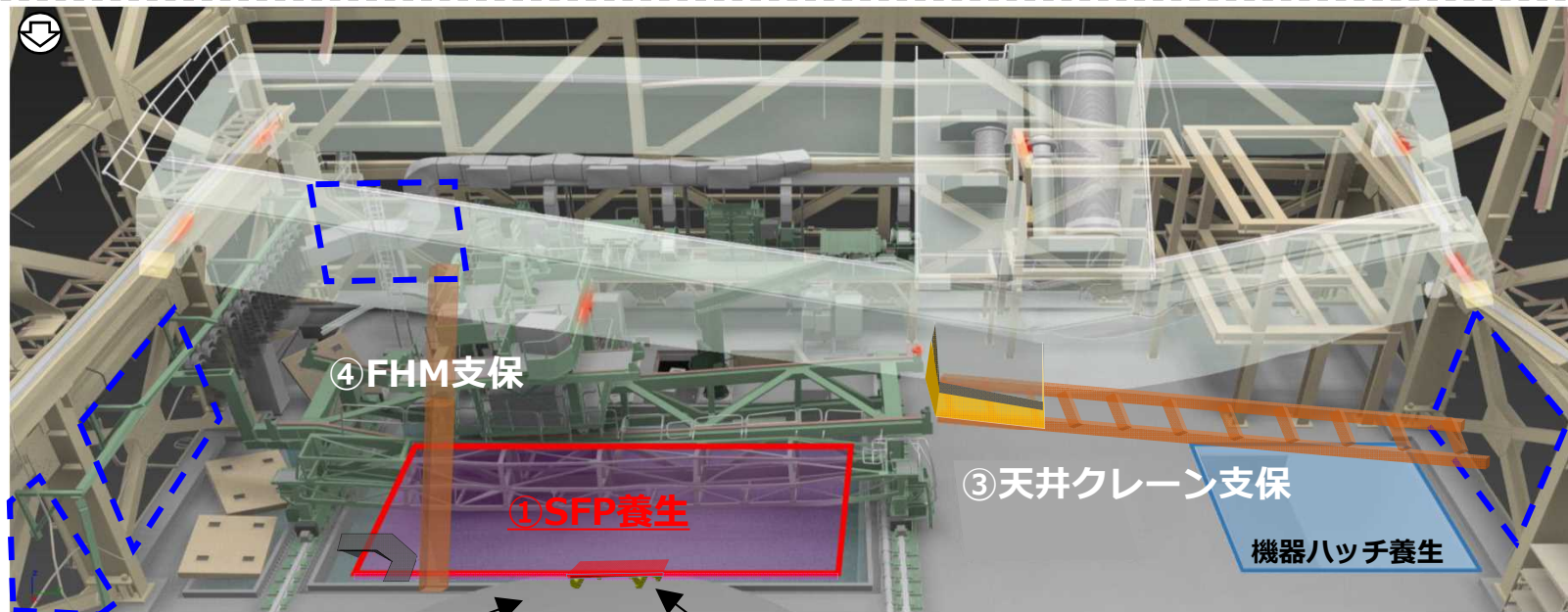
---

東京電力ホールディングス株式会社

# 1. はじめに

- 南側崩落屋根等の撤去に際し、屋根鉄骨・ガレキ等が使用済燃料プール（以下、SFP）等へ落下するリスクを可能な限り低減するため、以下のガレキ落下防止・緩和対策※を実施する。
- ①SFP養生の設置作業が2020年6月18日完了。

- ※ ①SFP養生（2020年6月設置完了）
  - 屋根鉄骨・小ガレキ等がSFPに落下した際に燃料等の健全性に影響を与えるリスク低減
- ②SFPゲートカバー（2020年3月設置完了）
  - 屋根鉄骨・小ガレキ等がSFPゲート上に落下した際のSFPゲートのずれ・損傷による水位低下リスクを低減
- ③天井クレーン支保、④FHM支保
  - 屋根鉄骨・小ガレキ等撤去により、天井クレーン/燃料取扱機（以下FHM）の位置ずれや荷重バランスが変動し天井クレーン落下に伴うダスト飛散のリスク及び燃料等の健全性に影響を与えるリスク低減



ウェルプラグ

②SFPゲートカバー

Xブレース撤去箇所

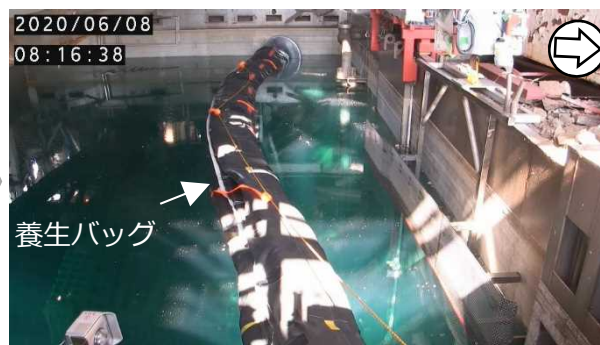
図：ガレキ落下防止・緩和対策の概要

## 2. SFP養生の設置状況

- SFP内の燃料を保護する位置に養生バッグの設置が完了。
- 2020年6月8日 養生バッグ投入、展張
- 2020年6月11日 養生バッグへエアモルタル充填
- 2020年6月17日 養生バッグを固定する為のスペーサを設置
- 2020年6月18日 SFP水位の回復及び循環冷却運転を再開し、SFP養生設置作業完了



養生バッグ投入前 (撮影日: 2020.6.8)



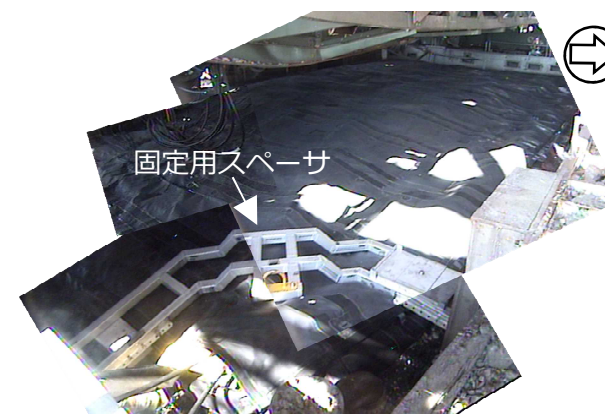
養生バッグ投入 (撮影日: 2020.6.8)



養生バッグ展張 (撮影日: 2020.6.8)



エアモルタル充填 (撮影日: 2020.6.11)

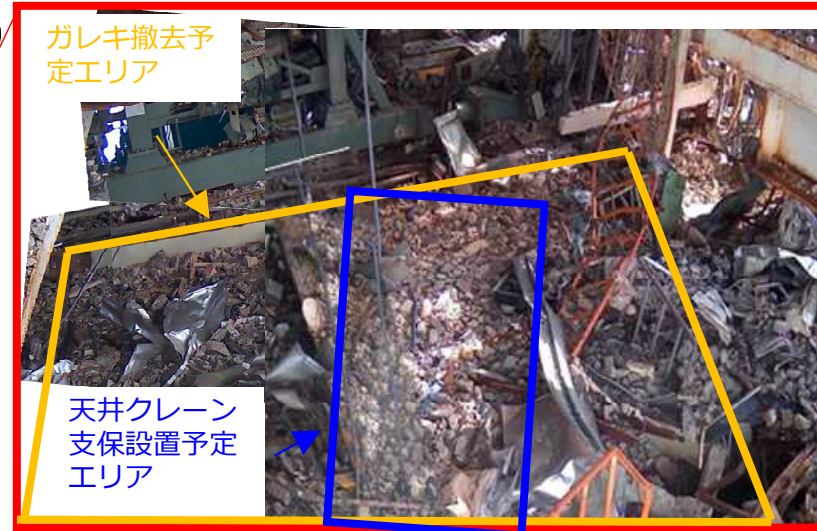
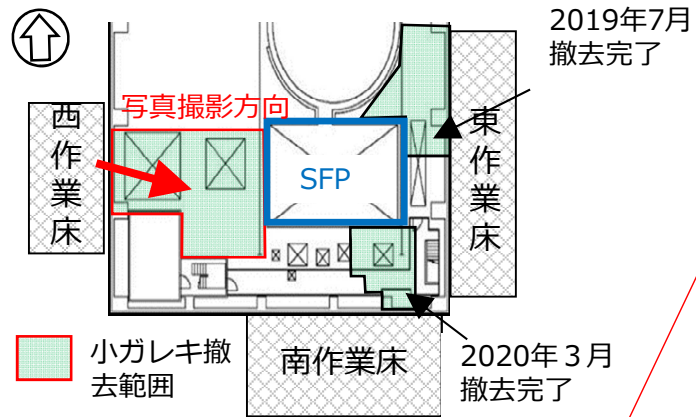


固定用スペーサ設置 (撮影日: 2020.6.17)



### 3. 西側支障ガレキ撤去について

- 天井クレーン支保設置に向け、天井クレーン支保設置エリアに存在するSFP西側の支障ガレキ撤去を行う。
- 2020年6月19日 準備作業開始
- 2020年7月6日 ガレキ撤去作業開始予定



支障ガレキ撤去範囲 (撮影日: 2020.4.23)

使用重機の例



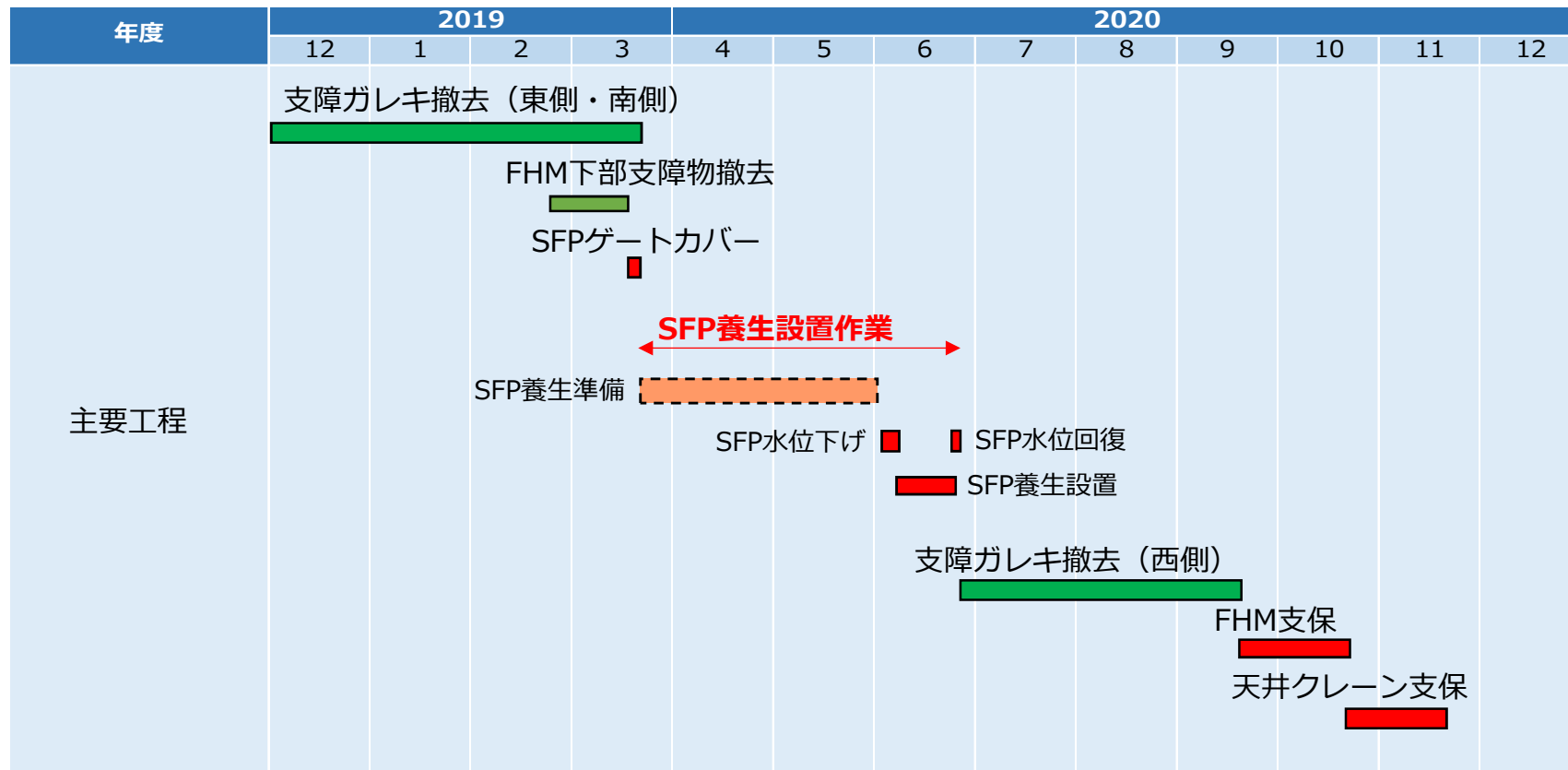
ZAXIS



ASTACO-SoRa

## 4. スケジュール

- 2020年6月18日、SFP養生の設置が完了。
- 2020年6月19日、SFP西側の支障ガレキ撤去準備を開始。準備が整い次第ガレキ撤去を実施予定。
- 実施にあたっては、事前にトレーニングを行い万全な体制を整えた上で、安全最優先に作業を実施する。

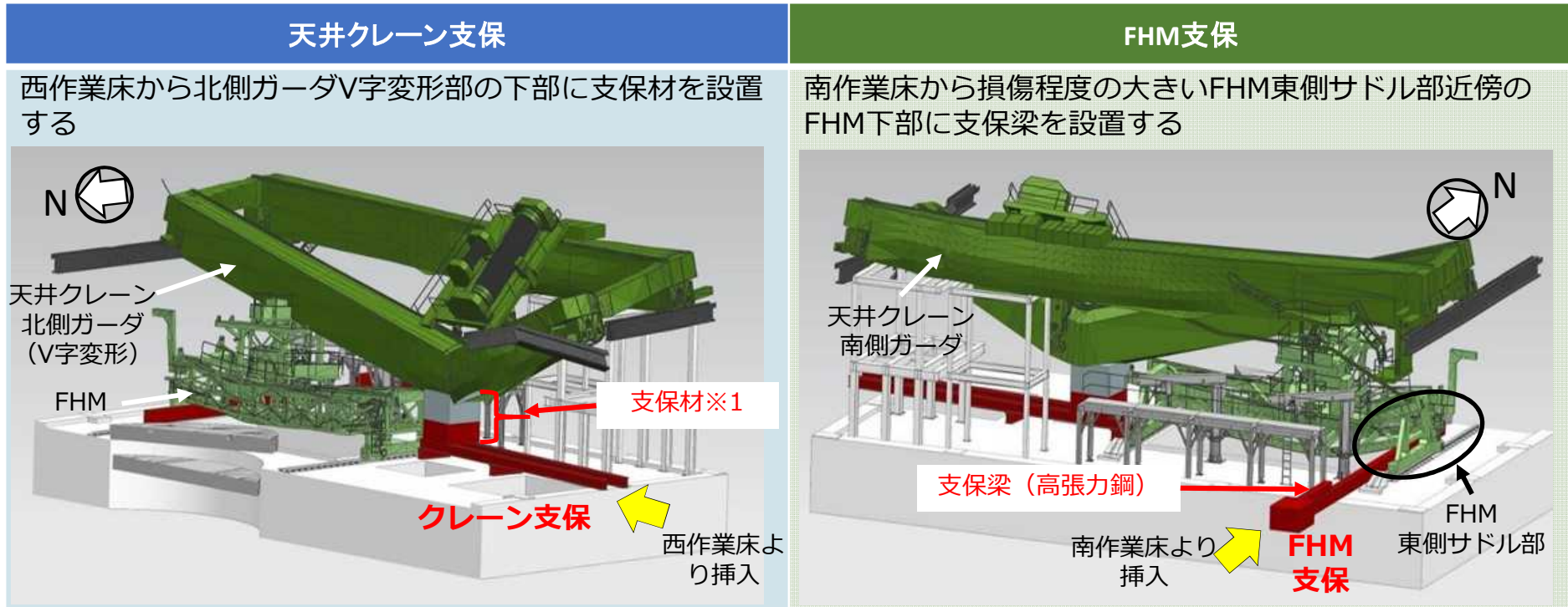


※各工程にはトレーニング、準備期間含む。

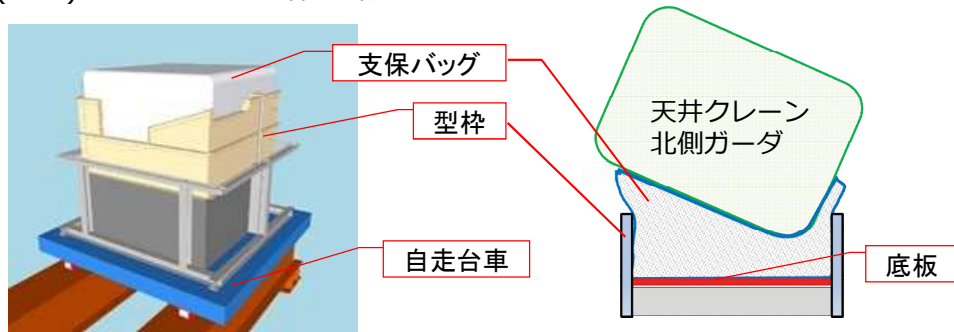
上記スケジュールは、工事進捗やトレーニング等により変更となる可能性あり。

## 【参考】天井クレーン支保、FHM支保概要

- 天井クレーン・FHM落下対策として、天井クレーンとFHMに対してアクセス可能で効果的な位置に支保材と支保梁の設置を実施する。



(※1)天井クレーン支保材 概略構造を以下に示す



天井クレーン支保材概略構造

支保バッグ設置 断面イメージ

支保バッグ 仕様			
外形	W2000mm×L1850mm×H630mm		
材質	外装	天端面	ポリエステル (内袋1層+外袋2層)
		側面・底面	高強度ポリエステル (内袋1層+外袋1層)
充填材	無収縮モルタル		

# 2号機使用済燃料プール内調査結果について

2020年7月3日

**TEPCO**

---

東京電力ホールディングス株式会社



### <調査概要>

- 2号機は、オペフロ内の線量が高くアクセスが困難なため、これまで使用済燃料プール（SFP）内の調査が出来ていない。
- 燃料取り出しにあたって燃料上部やキャスクピット内の干渉物等の有無、ならびにプールゲートやスキマサージタンクの状態を確認をするため、2020年6月10、11日にSFP内調査を実施した。

### <調査方法>

- 西側構台の前室から機材を搬入し、水中ROVを遠隔操作して調査を行った。
- 水中ROVや水中照明の設置など機材の搬入・片付けは、これまでのオペフロ内残置物移動・片付け作業で使用している遠隔無人重機・小型ロボットにより行った。



水中ROV



水中ROVの走行イメージ



遠隔無人重機（BROKK）



小型ロボット（Kobra、Packbot）

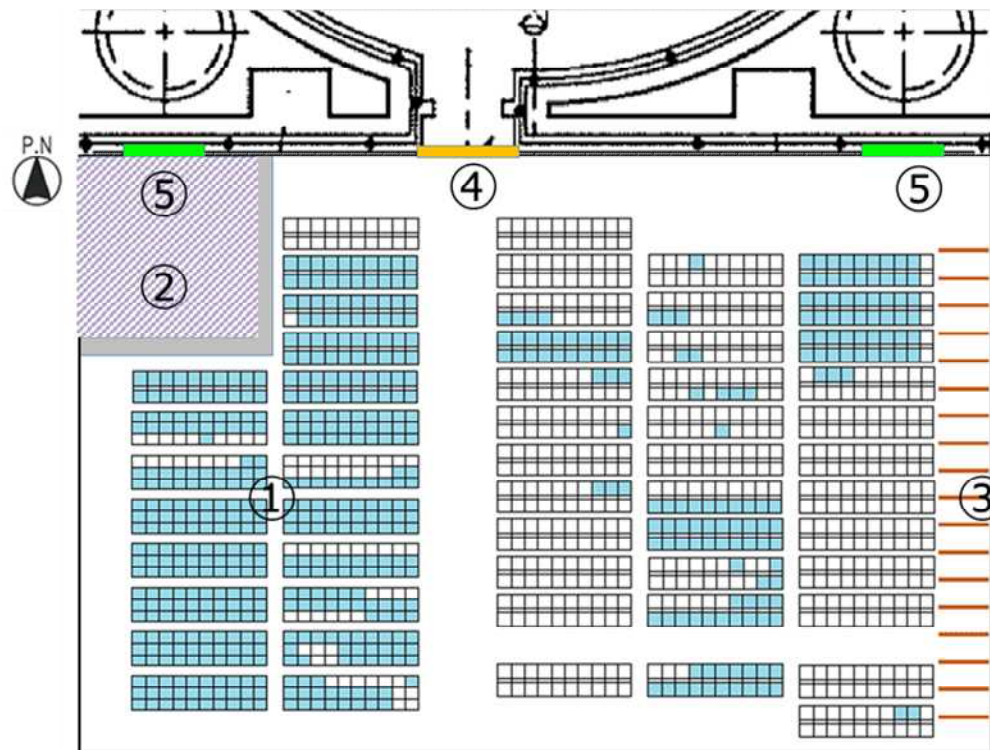


## SFP内調査の対象

下記対象物について調査を行った。

6月10日：①燃料、燃料ラック、④プールゲート、⑤スキマサージタンク入口

6月11日：②キャスクピット、③制御棒、制御棒ハンガー



### <調査対象物>

■ :① 燃料、燃料ラック  
(□は燃料が入っていないラックを表す)

▨ :② キャスクピット

≡ :③ 制御棒、制御棒ハンガー

■ :④ プールゲート

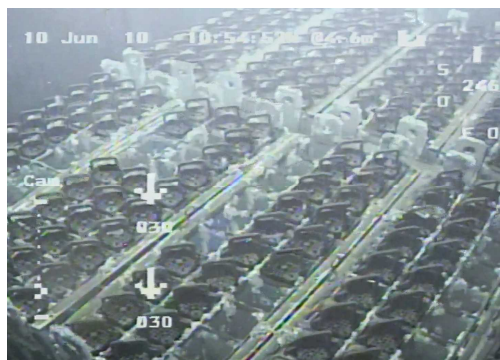
■ :⑤ スキマサージタンク入口

調査対象物のSFP内配置

- 今後の燃料取り出し及び燃料冷却に支障となる課題の有無を確認するため、調査対象物毎に下記表に示す確認事項について調査を実施した。
- 調査の結果、一部課題はあったものの、事前に想定されたもので燃料取り出しに支障となる課題は無いことを確認した。

調査対象物		確認事項	確認結果
①	燃料	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 燃料ハンドルの有意な変形の有無</li> <li>• 燃料上部における干渉物等の有無</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ (変形なし)</li> <li>△ (軽微な干渉物あり)</li> </ul>
	燃料ラック	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 燃料ラック上部の有意な変形の有無</li> </ul>	○ (変形なし)
②	キャスクピット	<ul style="list-style-type: none"> <li>• キャスクピット梁の有意な変形の有無</li> </ul>	○ (梁の変形なし)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• キャスクピット底部における干渉物の有無</li> </ul>	△ (底部に砂状の堆積物あり)
③	制御棒、制御棒ハンガー	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 制御棒ハンガーに制御棒全数が適切に掛かっていること</li> </ul>	○ (全数適切に掛かっている)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 制御棒ハンガーの有意な変形、腐食の有無</li> </ul>	○ (変形、腐食なし)
④	プールゲート	<ul style="list-style-type: none"> <li>• プールゲートの有意な変形、傾きの有無</li> </ul>	○ (変形、傾きなし)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• プールゲート支持軸のゲート取付け用ラグからの外れの有無</li> </ul>	○ (全箇所外れなし)
⑤	スキマサージタンク入口	<ul style="list-style-type: none"> <li>• スキマサージタンク入口の可動堰の有意な変形や傾きの有無</li> </ul>	○ (可動堰の変形、傾きなし)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• スキマサージタンク入口を塞ぐ干渉物、また塞ぐ可能性のある干渉物の有無</li> </ul>	○ (入口を塞ぐ干渉物なし)

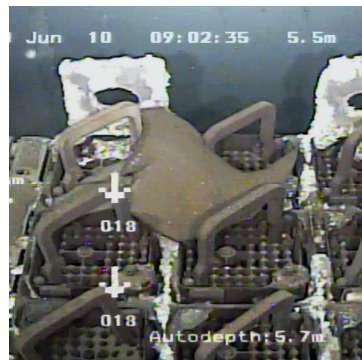
## 【調査結果】 ①燃料、燃料ラック、②キャスクピット



燃料ハンドルの様子



燃料ハンドルの様子  
(拡大)



燃料ハンドル上の  
干渉物の様子

- 燃料ハンドルに変形はなし
- 燃料上の一部に薄い塗膜片もしくはシート類が確認されたが、いずれも軽量なものと推定され、除去可能なため、燃料取り出しへの影響は小さい。(6ページ)
- 白色堆積物は、震災時の海水注入の影響でAl合金製燃料ラックに生成したもので3号も同様に確認されており取り出しに支障はない。



キャスクピット上面の梁の様子

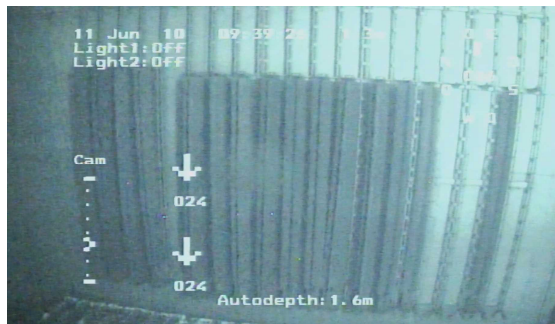


キャスクピット底部の様子

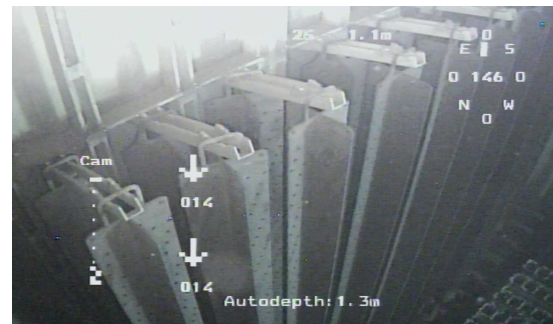
- キャスクピットの梁に変形はなし
- 底部に砂状の堆積物が確認されたものの、他に大きな干渉物等は無かったことから、燃料取り出しへの影響は小さい。



【調査結果】 ③制御棒ハンガー、④プールゲート、⑤スキマサージタンク入口 **TEPCO**



制御棒、制御棒ハンガー全体の様子



制御棒ハンガー（北東側）の様子

- 制御棒は制御棒ハンガーに適切に掛かっており、ハンガーの変形や腐食は見られなかった



プールゲート正面の様子



プールゲート支持軸の様子

- プールゲートに変形、傾きはなし
- パッキンを押さえる部位に白色の生成物が確認されたが、燃料ラックと同じAl合金製のため同様に生成したものと推定される。なお、プールゲートの止水性を担保するシリコン製パッキンには影響はない



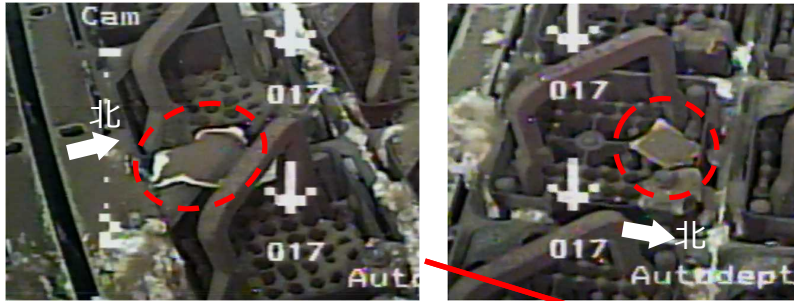
スキマサージタンク入口（北西側）正面の様子



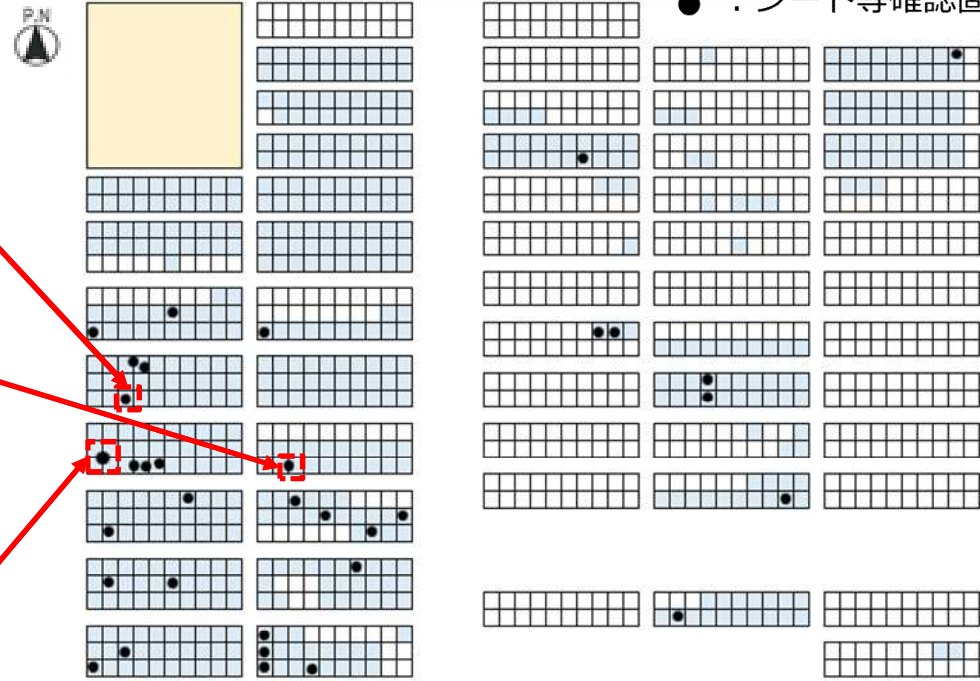
可動堰のボルトの様子（北西側の右下部分）

- スキマサージタンク入口の金網に薄い塗膜片のようなものが水面付近に確認されたが流路を塞ぐ状況にはないため、プール冷却に影響はない
- スキマサージタンク入口（北西側）の可動堰にボルトの変形・ナットの脱落が1か所確認されたが、残り3か所のボルト・ナットは健全でありプール水位に影響はない

<確認された塗膜片の例>



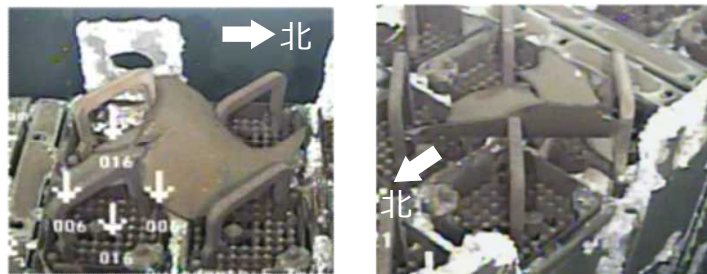
■ : 燃料  
● : シート等確認箇所



2号SFP内においてシート等が確認された箇所

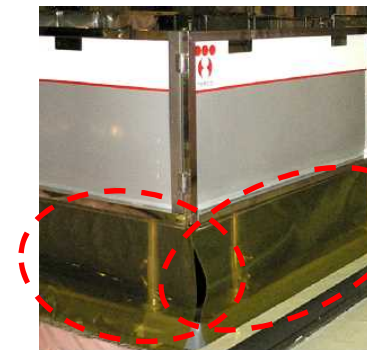
<確認された最大のシート類>

- ・ 寸法 : 約 200 × 250 mm
- ・ 厚さ : 約 1.5 mm



<シートの由来について>

- ・ SFP周りの手摺に震災前に設置した異物混入防止用シートが喪失しており、今回調査で確認したシートと同程度の厚さであることから、震災時の影響で一部がSFP内に落下したものと推定される。



異物混入防止用のウレタンシート

SFP周りの手摺の様子 (震災前)



# 調査・準備・片付け作業におけるロボット操作

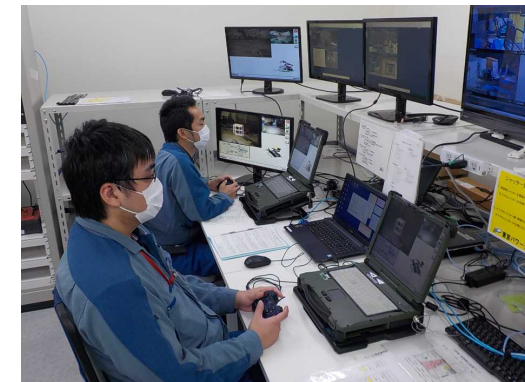
- 今回の調査では、当社社員の直営対応能力を向上すること、操作者の視点から作業内容を改善することを目的として、水中ROV操作、準備・片付け作業における小型ロボット操作を当社社員にて行った。
- 上記作業に先だって、水中ROVは南相馬市の福島ロボットテストフィールド、小型ロボットは福島第一原子力発電所構内等にて操作訓練を行った。



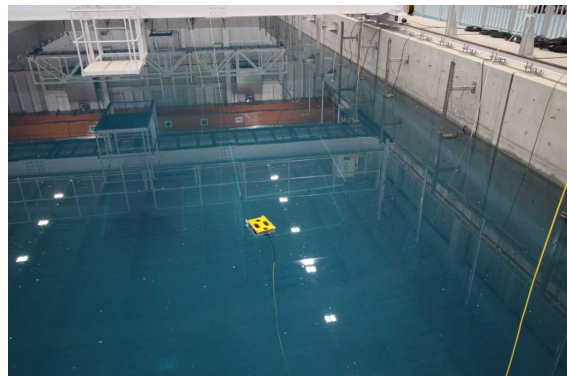
福島ロボットテストフィールドでの水中ROV操作訓練の様子



西側構台での水中ROV操作の様子 (調査作業)



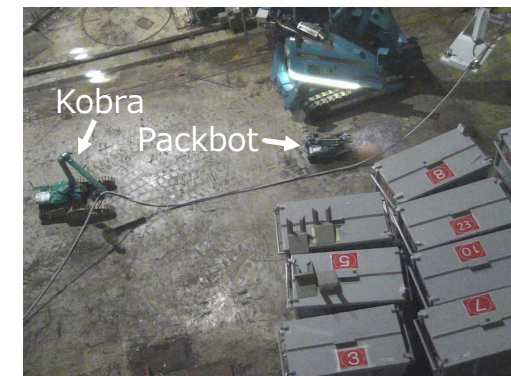
免震棟での小型ロボット操作の様子 (準備・片付け作業)



福島ロボットテストフィールドでの水中ROV走行の様子



2号SFP内での水中ROV走行の様子



小型ロボット (Kobra、Packbot) を用いた準備作業の様子 <sup>7</sup>



## SFP内調査結果を踏まえた今後の取組み

- 今回の調査結果から抽出した課題と対策案は下表のとおり。
- 各対策について引き続き検討し、燃料取扱設備の設計や運用等に反映することで、2024年度から2026年度に開始予定の2号機使用済燃料プールの燃料取り出し作業に向けて、着実に取り組んでいく。

調査対象物	課題	対策案
①燃料、燃料ラック	<ul style="list-style-type: none"><li>燃料上の一部にシート状の干渉物があり、燃料ハンドルを把持する際に干渉する可能性がある。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>干渉物を把持、吸引等により燃料上部から除去する方法を検討する。</li></ul>
②キャスクピット	<ul style="list-style-type: none"><li>キャスクピット底部に砂状の堆積物があり、キャスクを底面に着座させた際に不安定になったり、キャスク表面が汚染する可能性がある。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>キャスクの取扱い方法に応じて、吸引等により砂状の堆積物の除去を検討する。</li></ul>
③制御棒、制御棒ハンガー	特になし	—
④プールゲート	特になし	—
⑤スキマサージタンク入口	特になし	—

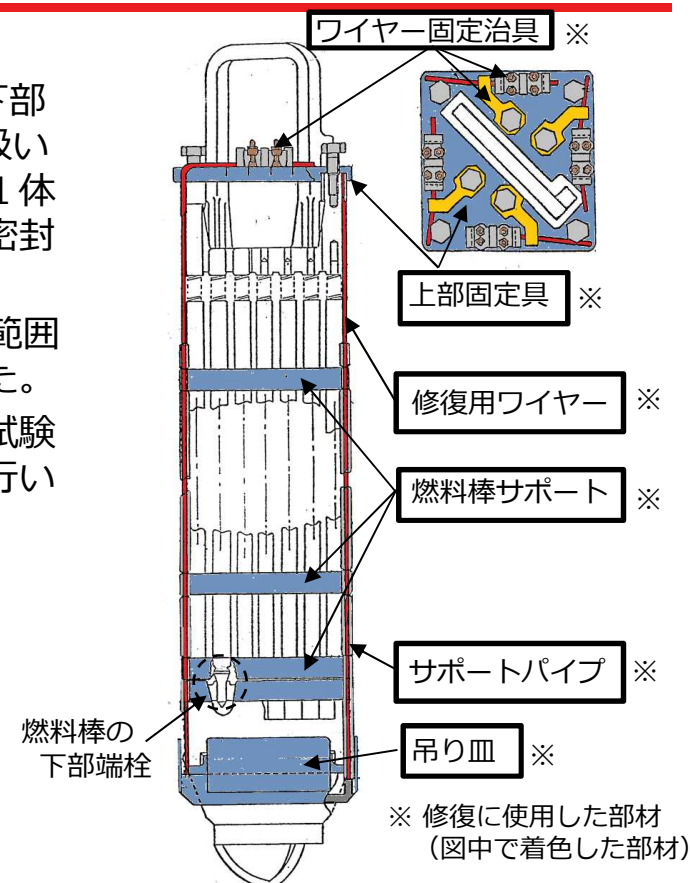
## 【参考】2号機に保管している非健全燃料について

### (ワイヤー修復燃料)

- 2号機SFP内には1981年に取扱中の落下により結合燃料棒<sup>\*1</sup>の下部端栓<sup>\*2</sup>が折損して吊上げ不可となり、翌年、燃料取扱機で取り扱いができるよう、ワイヤー等で一体化して修復した燃料集合体が1体保管されている。なお、当該燃料は外観点検等により被覆管の密封性には影響ないことが確認されている。
- 今回の調査で当該燃料の上部を観察し、水中ROVで視認できる範囲で修復用ワイヤーの断線や固定治具の外れがないことを確認した。
- 当該燃料の取扱い方法は、現在実施中の修復用ワイヤーの腐食試験結果を踏まえて検討するとともに、取扱い前には吊上げ試験を行い吊上げ可能であることを確認する予定。

\*1 通常の燃料棒であるが、下部端栓にネジが切られており、下部タイプレートと結合している。燃料集合体を吊上げる際、自重を支える強度部材になっている。燃料集合体1体につき結合燃料棒は8本ある。

\*2 燃料棒下端の部材であり、ペレットを内包するための金属の筒である被覆管と溶接されている。



※ 修復に使用した部材  
(図中で着色した部材)

### (その他の非健全燃料)

- その他、2号機SFP内には震災前から被覆管にピンホール大の穴が空いた漏えい燃料と下部タイプレート側面の部材が変形した燃料が1体ずつ保管されている。これらについては通常の燃料と同様に燃料取扱機による取扱いが可能である。

ワイヤー修復燃料のイメージ図



ワイヤー修復燃料上部の様子

循環注水冷却スケジュール (1/2)

おぼえ 返り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	5月			6月			7月			8月			9月	10月	備考	
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2		
循環注水冷却	循環注水冷却	(実 績) 【共通】循環注水冷却中 (継続)  (予 定)	【1, 2, 3号】循環注水冷却 (滞留水の再利用)															原子炉・格納容器内の崩壊熱評価、温度、水素濃度に応じて、また、作業等に必要の条件に合わせて、原子炉注水流量の調整を実施
	海水腐食及び塩分除去対策	(実 績) CST室素注入による注水溶存酸素低減 (継続) ヒドラン注入中  (予 定)	CST室素注入による注水溶存酸素低減															
原子炉格納容器関連	室素充填	(実 績) 【1号】サブプレッションチャンパへの室素封入 - 連続室素封入へ移行 (2013/9/9~) (継続)  (予 定) 【共通】室素ガス分離装置(B)不具合に伴う復旧作業 ・運転確認 2020/7/3~10 ・系統インサース 2020/7/13	【1, 2, 3号】原子炉圧力容器 原子炉格納容器 室素封入中 【1号】サブプレッションチャンパへの室素封入															
	PCVガス管理	(実 績) 【1号】PCVガス管理システム 水素モニタ点検 ・水素モニタ停止 B系: 2020/5/18 ・水素モニタ停止 A系: 2020/6/16 【1号】PCVガス管理システムダストサンプリング ・希ガスモニタ、水素モニタ停止 A系: 2020/5/19 ・希ガスモニタ、水素モニタ停止 A系: 2020/6/10 【2号】PCVガス管理システム計装品点検手入工事 ・希ガスモニタ停止 A系: 2020/5/18/6/22/23/29 ・希ガスモニタ停止 B系: 2020/5/19/6/24/25 【3号】PCVガス管理システム計装品点検手入工事 ・希ガスモニタ停止 A系: 2020/5/20/6/16/17 ・希ガスモニタ停止 B系: 2020/5/21/6/18/19  (予 定) 【1号】PCV内部調査にかかわる干渉物切断作業 (AWJ) ・PCV減圧: 2020/4/14~8/上旬 【1号】PCVガス管理システムダストサンプリング ・希ガスモニタ、水素モニタ停止 A系: 2020/7/7 【1号】PCVガス管理システム 水素モニタ点検 ・水素モニタ停止 B系: 2020/7/13~17 ・水素モニタ停止 A系: 2020/7/20~23 【2号】PCVガス管理設備減圧機能確認 ・PCV減圧: 2020/7/6~7/10 【2号】PCVガス管理システム 水素モニタ点検 ・水素モニタ停止 A系: 2020/7/27 ・水素モニタ停止 B系: 2020/7/28 【3号】PCVガス管理システム 水素モニタ点検 ・水素モニタ停止 A系: 2020/7/29 ・水素モニタ停止 B系: 2020/7/30	【1, 2, 3号】継続運転中 【1号】水素モニタB停止 【1号】水素・希ガスモニタA停止 【2号】希ガスモニタA停止 【2号】希ガスモニタB停止 【3号】希ガスモニタA停止 【3号】希ガスモニタB停止 【1号】PCV減圧 【1号】水素・希ガスモニタA停止 【1号】水素モニタB停止 【1号】水素モニタA停止 【2号】PCV減圧 【2号】水素モニタA停止 【2号】水素モニタB停止 【3号】水素モニタA停止 【3号】水素モニタB停止															



循環注水冷却スケジュール (2/2)

お名前	送り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	5月			6月			7月			8月			9月	10月	備考
				17	24	31	7	14	21	28	5	12	19	26	2	9	16	
使用済燃料プール関連		使用済燃料プール循環冷却	(実 績) ・【共通】循環冷却中(継続)  ・【1号】SFP養生設置 ・SFP一次系停止：2020/5/29 ~ 2020/6/18 ・SFP水位低下：2020/5/30 ~ 2020/6/18  (予 定) ・【2号】SFP系統空気作動弁用コンプレッサ点検 ・SFP一次系停止：2020/7/6 ~ 2020/7/8	【1. 2. 3号】循環冷却中 	【1号】SFP一次系停止 	【1号】SFP水位低下 	【2号】SFP一次系停止 											
		使用済燃料プールへの注水冷却	(実 績) ・【共通】使用済燃料プールへの非常時注水手段としてコンクリートポンプ車等の現場配備(継続)	【1. 2. 3号】系弁室に応じて、内部注水を実施 	【1. 3号】コンクリートポンプ車等の現場配備 													
		海水腐食及び塩分除去対策(使用済燃料プール薬注&塩分除去)	(実 績) ・【共通】プール水質管理中(継続)	【1. 2. 3. 4号】ヒドラジン等注入による防食 	【1. 2. 3. 4号】プール水質管理 													

使用済燃料プール対策 スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	5月		6月				7月			8月			9月			備考
				24	31	7	14	21	28	5	12	19	下	上	中	下	日	月	
カバ	カバ	燃料取り出し用カバーの 詳細設計の検討 原子炉建屋上部の ガレキの撤去 燃料取り出し用カバーの 設置工事	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>燃料取り出し方法の基本検討</li> <li>現地調査等</li> <li>作業ヤード整備</li> <li>ガレキ撤去</li> <li>SFP周辺小ガレキ撤去</li> <li>FHM下部支障物撤去</li> <li>SFPゲートカバー設置</li> <li>SFP養生設置</li> </ul> <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>燃料取り出し方法の基本検討</li> <li>現地調査等</li> <li>作業ヤード整備</li> <li>ガレキ撤去</li> <li>SFP周辺小ガレキ撤去</li> </ul>	検討・設計	燃料取り出し設備、大型カバーの検討・設計														<p>【主要工程】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ガレキ撤去</li> <li>ガレキ撤去：'18/1/22~</li> <li>Xブレース撤去：'18/9/19~'18/12/20</li> <li>機器ハッチ養生：'19/1/11~'19/3/6</li> <li>屋根鉄骨断断：'19/2/5~'19/2/22</li> <li>SFP周辺小ガレキ撤去：'19/3/18~</li> <li>ウェルブラグ調査：'19/7/17~'19/8/26</li> <li>SFP内干渉物等調査：'19/8/2、'19/9/4~6 9/20、27</li> <li>ウェルブラグ上のH鋼撤去：'19/8/28</li> <li>FHM下部支障物撤去：'20/3/3~'20/3/14</li> <li>SFPゲートカバー設置：'20/3/16~'20/3/18</li> <li>SFP養生設置（準備作業）：'20/3/20~'20/5/28</li> <li>SFP養生設置（循環停止）：'20/5/29</li> <li>SFP養生設置（SFP水位低下作業）：'20/5/30~'20/6/18</li> <li>SFP養生設置（SFP水位回復、循環再開）：'20/6/18</li> </ul> <p>【規制庁関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オペレーティングフロア上ガレキの一部撤去等 実施計画変更認可（2019/3/1）</li> </ul> <p>※○番号は、別紙配置図と対応</p>
				現場作業	<p>①現地調査等（'13/7/25~）</p> <p>②作業ヤード整備等</p> <p>③ガレキ撤去</p> <p>SFP養生設置（準備作業）</p> <p>SFP養生設置</p> <p>④SFP周辺小ガレキ撤去（西側）</p> <p>燃料取扱機支保設置（準備作業含む）</p>														
				検討・設計	燃料取り出し設備、燃料取り出し用構台の検討・設計														
カバ	カバ	燃料取り出し用カバーの 詳細設計の検討 原子炉建屋上部の ガレキの撤去 燃料取り出し用カバーの 設置工事	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>燃料取り出し方法の基本検討</li> <li>現地調査等</li> <li>オペレーティングフロア 残置物移動・片付け（その4）</li> <li>SFP内調査</li> </ul> <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>燃料取り出し方法の基本検討</li> <li>現地調査等</li> <li>南側ヤード干渉物撤去</li> <li>オペレーティングフロア 残置物移動・片付け（その4）</li> <li>SFP内調査（現場片付け）</li> </ul>	検討・設計	燃料取り出し設備、燃料取り出し用構台の検討・設計														<p>【主要工程】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>燃料取り出し計画の選択：'19/10/31</li> <li>ヤード整備工事：'15/3/11~'16/11/30</li> <li>西側構台設置工事：'16/9/28~'17/2/18</li> <li>前室設置工事：'17/3/3~'17/5/16</li> <li>屋根保護層撤去（遺留重機作業）：'18/1/22~'18/5/11</li> <li>オペレーティングフロア西側外壁開口：'18/4/16~'18/6/21</li> <li>鉄骨トラス状況確認：'18/2/28~'18/3/17</li> <li>オペレーティングフロア調査：'18/6/25~'18/7/18</li> <li>オペレーティングフロア残置物移動・片付け：'18/8/23~'18/11/6</li> <li>オペレーティングフロア残置物移動・片付け後調査と片付け：'18/11/14~'19/2/28</li> <li>西側構台設備点検：'19/2/13~'19/3/26</li> <li>オペレーティングフロア残置物移動・片付け（その2）：'19/3/25~'19/8/27</li> <li>オペレーティングフロア残置物移動・片付け（その3）：'19/9/10~'20/2/25</li> <li>SFP内調査：'20/4/27~'20/6/30（調査：'20/6/10~'20/6/11）</li> <li>オペレーティングフロア残置物移動・片付け（その4）：'20/3/2~'20/11/下</li> </ul> <p>【規制庁関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>西側外壁開口設置 実施計画変更認可（2017/12/21）</li> </ul> <p>※○番号は、別紙配置図と対応</p>
				現場作業	<p>⑤現地調査等</p> <p>南側ヤード干渉物撤去</p> <p>⑥オペレーティングフロア残置物移動・片付け</p> <p>残置物移動・片付け（その4） 搬出作業習熟訓練</p> <p>⑦SFP内調査 現場作業準備・モックアップ訓練</p> <p>SFP内調査</p> <p>現場片付け</p> <p>コンテナ搬出</p>														
				検討・設計	燃料取り出し設備、燃料取り出し用構台の検討・設計														
カバ	カバ	燃料取り出し用カバーの 詳細設計の検討 原子炉建屋上部の ガレキの撤去 燃料取り出し用カバーの 設置工事	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>燃料取り出し方法の基本検討</li> <li>現地調査等</li> <li>オペレーティングフロア 残置物移動・片付け（その4）</li> <li>SFP内調査</li> </ul> <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>燃料取り出し方法の基本検討</li> <li>現地調査等</li> <li>南側ヤード干渉物撤去</li> <li>オペレーティングフロア 残置物移動・片付け（その4）</li> <li>SFP内調査（現場片付け）</li> </ul>	検討・設計	燃料取り出し設備、燃料取り出し用構台の検討・設計														<p>【主要工程】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>竣工（建築工事）'18/10/31</li> <li>竣工（機械工事）'19/7/22</li> </ul>
				現場作業	ヤード片付														
				検討・設計	燃料取り出し設備、燃料取り出し用構台の検討・設計														
カバ	カバ	燃料取り出し用カバーの 詳細設計の検討 原子炉建屋上部の ガレキの撤去 燃料取り出し用カバーの 設置工事	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>燃料取り出し方法の基本検討</li> <li>現地調査等</li> <li>オペレーティングフロア 残置物移動・片付け（その4）</li> <li>SFP内調査</li> </ul> <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>燃料取り出し方法の基本検討</li> <li>現地調査等</li> <li>南側ヤード干渉物撤去</li> <li>オペレーティングフロア 残置物移動・片付け（その4）</li> <li>SFP内調査（現場片付け）</li> </ul>	検討・設計	燃料取り出し設備、燃料取り出し用構台の検討・設計														<p>【主要工程】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実証試験：'18/8/28~'19/4/2</li> <li>準備工事：'18/12/3~'19/7/31</li> <li>排気筒事前調査：'19/4/2~'19/4/18</li> <li>排気筒解体工事：'19/8/1~'20/5/1</li> </ul> <p>【規制庁関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1/2号機排気筒解体 実施計画変更認可（'19/2/27）</li> </ul>
				現場作業	ヤード片付														
				検討・設計	燃料取り出し設備、燃料取り出し用構台の検討・設計														
カバ	カバ	燃料取り出し用カバーの 詳細設計の検討 原子炉建屋上部の ガレキの撤去 燃料取り出し用カバーの 設置工事	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>燃料取り出し方法の基本検討</li> <li>現地調査等</li> <li>オペレーティングフロア 残置物移動・片付け（その4）</li> <li>SFP内調査</li> </ul> <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>燃料取り出し方法の基本検討</li> <li>現地調査等</li> <li>南側ヤード干渉物撤去</li> <li>オペレーティングフロア 残置物移動・片付け（その4）</li> <li>SFP内調査（現場片付け）</li> </ul>	検討・設計	燃料取り出し設備、燃料取り出し用構台の検討・設計														<p>【主要工程】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>準備工事（作業ヤード整備等）：'18/10/18~'19/3/24</li> <li>2号機T/B下屋ガレキ等撤去：'19/3/25~'19/10/31</li> <li>2号機R/B下屋ガレキ等撤去：'19/11/1~'20/3/7</li> <li>1/2号機Rw/B床面清掃：'20/2/25~</li> <li>1/2号機ガレキ撤去：'20/5/11~</li> </ul>
				現場作業	<p>2号機Rw/B床面清掃等</p> <p>浄化材製作・設置</p> <p>2号機Rw/B屋根ガレキ撤去</p>														
				検討・設計	燃料取り出し設備、燃料取り出し用構台の検討・設計														

使用済燃料プール対策 スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	5月		6月					7月			8月			9月	備考			
				24	31	7	14	21	28	5	12	19	下	上	中	下	日		月		
使用済燃料プール対策	燃料取扱設備	クレーン/燃料取扱機の設計・製作 プール内ガレキの撤去、燃料調査等	1号機 (実績) ・燃料取り出し方法の基本検討 (予定) ・燃料取り出し方法の基本検討	検討・設計	燃料取り出し設備、大型カバーの検討・設計															【主要工程】 ・燃料取り出し計画の選択：2014年10月 →プール燃料取り出しに特化したプランを選択 ・ガレキ撤去計画継続検討 ・燃料取り出し計画の選択：'19/12/19	
			2号機 (実績) ・燃料取り出し方法の基本検討 (予定) ・燃料取り出し方法の基本検討	検討・設計	燃料取り出し設備、燃料取り出し用構台の検討・設計																【主要工程】 ・燃料取り出し計画の選択：'19/10/31
			3号機 (実績) ・クレーン/燃料取扱機のメンテナンス等検討 ・ガレキ撤去 ・燃料取り出し ・追加訓練 (予定) ・ガレキ撤去 ・燃料取り出し	検討・設計	クレーン/燃料取扱機のメンテナンス等検討																【主要工程】 ○クレーン/燃料取扱機等設置点検： ・燃料取扱設備点検：'20/3/30~20/4/26  ○燃料取り出しおよびガレキ撤去作業： ・訓練、ガレキ撤去：'19/3/15~ ・燃料取り出し：'19/4/15~ ・追加訓練：'20/4/27~20/5/23
現場作業	◎燃料取り出しおよびガレキ撤去作業 ガレキ撤去・燃料健全性確認															【規制庁関連】 ・3号機燃料取り出し、燃料の取り扱い及び構内用輸送容器実施計画変更認可申請（2018/3/27） 実施計画変更認可申請の一部補正（2019/2/15） 実施計画変更認可申請の認可（2019/3/12） ・3号機プール内小ガレキ撤去、エリアモニタ、ダストモニタ実施計画変更認可申請の一部補正（2018/4/13）、認可（6/8） ・3号機損傷・変形等燃料用輸送容器実施計画変更認可申請（2019/8/20）					
共用プール	燃料受け入れ	(実績) ・燃料ラック取替 ・3号機燃料受け入れ (予定) ・3号機燃料受け入れ	現場作業	燃料ラック取替															【主要工程】 ○共用プール設備点検： ・クレーン点検：'20/3/30~20/4/4 ・燃料取扱機点検：'20/4/1~20/4/28 ・燃料ラック取替：'20/4/20~20/5/26		
				3号機燃料受け入れ															【規制庁関連】 ・共用プール損傷・変形等燃料ラック実施計画変更認可申請（2019/7/11） 実施計画変更申請の認可（2020/4/8）		



燃料デブリ取り出し準備 スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定		5月		6月				7月			8月			9月			備考
			24	31	7	14	21	28	5	12	19	下	上	中	下	前	後			
原子炉建屋内環境改善	原子炉建屋内の環境改善	1号 (実績)なし (予定) ○建屋内環境改善(予定)	検討・設計																	建屋内環境改善 ・2階線量調査の準備作業のうち3階床面穿孔 '20/7下旬~'20/8下旬 R/B2階の線量調査に向けた準備作業のうち、3階南側エリアの床面穿孔を実施。  追加・実施時期調整中 建屋内環境改善 2階線量調査の準備作業のうち3階床面穿孔
		2号 (実績)なし (予定) ○建屋内環境改善(予定)	検討・設計																	建屋内環境改善 ・機器撤去'19/12/13~'20/3/25 R/B1階西側通路配管撤去、大物搬入口2階不要品撤去。 ・機器撤去'20/7中旬~'20/7下旬 R/B1階北西エリア不要品撤去。  追加・実施時期調整中 建屋内環境改善 機器撤去
		3号 (実績)なし (予定)なし	検討・設計																	建屋内環境改善 ・準備工事・線量測定'19/6/14~'19/8/30 ・機器撤去'19/9/18~'20/1/13 北西エリア仮設遮へい設置に干渉する機器の撤去。 ・仮設遮へい設置'20/1/14~'20/2/18 北西エリア計装ラック前への仮設遮へい体の設置。 ・線源調査'20/2/19~'20/5/22 原子炉建屋1階の線量調査・線源調査の実施。
燃料デブリ取り出し準備	格納容器内水循環システムの構築	1号 (実績)なし (予定)なし	現場作業																	
		2号 (実績)なし (予定)なし	現場作業																	
		3号 (実績)なし (予定) ○サプレッションチェンバ(S/C)内抱水サンプリング(予定)	検討・設計																	S/Cサンプリング ・準備作業・S/Cサンプリング'20/7月上旬~  実施時期調整中 S/Cサンプリング 準備作業・S/Cサンプリング
燃料デブリ取り出し	燃料デブリの取り出し	1号 (実績) ○原子炉格納容器内部調査(継続) (予定) ○原子炉格納容器内部調査(継続)	検討・設計																	PCV内部調査に係る実施計画変更申請('18/7/25) →補正申請('19/1/18) →認可('19/3/1) 【主要工程】 ・PCV内部調査装置投入に向けた作業'19/4/8~  PCV内部調査 PCV内部調査装置投入に向けた作業
		2号 (実績)なし (予定)なし	検討・設計																	PCV内部調査に係る実施計画変更申請('18/7/25) →1号機PCV内作業時のダスト飛散事象を踏まえて、2号機においてもダスト低減対策を検討中。2号機PCV内部調査は2021年内開始を目指す試験的取り出しと合わせて実施することで検討中。
		3号 (実績)なし (予定)なし	現場作業																	

汚染水対策スケジュール (1/2)

分野	括り	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	6月				7月				8月		9月		備考		
			24	31	7	14	21	28	5	12	19	下	上	中		下	前
中長期課題 汚染水対策分野	建屋滞留水処理	【1、2号機 滞留水移送装置設置】 【3、4号機 滞留水移送装置設置】 (実績) ・穿孔・地下層干渉物撤去 ・架台・配管・ポンプ設置	【1、2号機】滞留水移送装置設置														2020年1月30日 1~4号機建屋滞留水移送装置の追設の実施計画変更認可(原規規発第2001303号)
			【3、4号機】滞留水移送装置設置														2020年1月30日 1~4号機建屋滞留水移送装置の追設の実施計画変更認可(原規規発第2001303号)
		【1~4号機滞留水浄化設備】 (実績) ・【1~4号機】建屋滞留水浄化 運用中	【1~4号機】建屋滞留水浄化 運用中														
	浄化設備	【既設多核種除去設備】 (実績) ・処理運転(A・B・C系統)  (予定) ・処理運転(A・B・C系統)	A系 処理運転(処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止)														処理水及びタンクのインサービス状況に応じて適宜運転または処理停止
			B系 処理運転(処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止)														
			C系 処理運転(処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止)														
			処理運転(処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止)														
		【高性能多核種除去設備】 (実績・予定) ・処理運転	処理運転(処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止)														処理水及びタンクのインサービス状況に応じて適宜運転または処理停止
		【増設多核種除去設備】 (実績) ・処理運転(A・B・C系統) (予定) ・処理運転(A・B・C系統)	A系 処理運転(処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止)														※処理水及びタンクのインサービス状況に応じて適宜運転または処理停止 ※9/14に使用前検査(除去性能確認)を受検、使用前検査終了証を受領した2017年10月16日よりホット試験から本格運転へ移行(運転状態・除去性能はホット試験中と変わらず) 2017年10月12日付 増設多核種除去設備使用前検査終了証受領(原規規発第1710127号)
		B系 処理運転(処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止)															
	C系 処理運転(処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止)																
	【サブドレン浄化設備】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	処理運転														サブドレン汲み上げ、運用開始(2015.9.3~)排水開始(2015.9.14~)	
	【5/6号機サブドレンの復旧】 (実績) サブドレン設備復旧方針検討 (予定) サブドレン設備復旧方針検討	サブドレン設備復旧方針検討															
	【第三セシウム吸着装置】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	処理運転														2017年7月28日 除染装置関連設備撤去の実施計画変更認可(原規規発第1707283号) 2017年9月28日 第三セシウム吸着装置設置の実施計画変更認可(原規規発第1709285号)  第三セシウム吸着装置設置コールド試験完了(H30、7月) 2019年1月28日 第三セシウム吸着装置使用前検査終了証受領(原規規発第1901286号) 2019年7月12日運用開始	
	(実績・予定) ・未凍結箇所補助工事は2018年9月に完了 ・維持管理運転2019年2月21日全域展開完了	維持管理運転(北側、南側の一部 2017/5/22~、海側の一部 2017/11/13~、海側全域・山側の一部 2018/3/14~、山側全域2019/2/21完了)														2016年3月30日 陸側遮水壁の閉合について実施計画変更認可(原規規発第1603303号) 2016年12月2日 陸側遮水壁の一部閉合について実施計画変更認可(原規規発第1612024号) 2017年3月2日 陸側遮水壁の一部閉合について実施計画変更認可(未凍結箇所4箇所閉合:原規規発第1703023号) 2017年8月15日 陸側遮水壁の一部閉合について実施計画変更認可(未凍結箇所1箇所閉合:原規規発第1708151号)	
	(実績・予定) ・汚染の拡散状況把握	モニタリング															

汚染水対策スケジュール (2/2)

分野	活り	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	6月							7月				8月		9月	備考			
			24	31	7	14	21	28	5	12	19	下	上	中	下	前		後		
汚染水対策分野	中長期課題	<p>処理水受タンク増設</p> <p>(実績・予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>追加設置検討 (タンク配置)</li> <li>H6フランジタンクリブレース工事 (タンク堰構築・雨水カバー設置)</li> <li>H3フランジタンクリブレース工事 (タンク堰構築・雨水カバー設置)</li> <li>G6フランジタンクリブレース工事 (雨水カバー設置)</li> <li>G4南フランジタンクリブレース工事 (タンク堰構築)</li> <li>Cフランジタンクリブレース工事 (タンク解体)</li> <li>Eフランジタンクリブレース工事 (タンク解体)</li> <li>G1横置きタンクリブレース工事 (タンク堰構築)</li> <li>G4北エリアタンクリブレース工事 (タンク解体)</li> <li>G5エリアタンクリブレース工事 (タンク解体)</li> <li>G1エリアタンク設置</li> <li>G4南エリアタンク設置</li> </ul>	設計検討	→																
			現場作業	H6フランジタンクリブレース工事 (タンク堰構築・雨水カバー設置)														2016年12月8日 H6エリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可		
			現場作業	H3フランジタンクリブレース工事 (タンク堰構築・雨水カバー設置)														2018年2月14日 H6北エリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可		
			現場作業	G6フランジタンクリブレース工事 (雨水カバー設置)														2016年12月8日 H3エリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可		
			現場作業	G4南フランジタンクリブレース工事 (タンク堰構築)														2017年10月30日 G6エリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可		
			現場作業	Cフランジタンクリブレース工事 (タンク解体)														2018年7月5日 G4南エリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可		
			現場作業	Eフランジタンクリブレース工事 (タンク解体)														2019年2月15日 Cエリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可		
			現場作業	G1横置きタンクリブレース工事 (タンク堰構築)														2018年9月10日 Eエリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可		
			現場作業	G4北フランジタンクリブレース工事 (タンク解体)														2017年10月17日 G1エリアにおける高濃度タンクおよび中低濃度タンク撤去等について 実施計画変更認可		
			現場作業	G5フランジタンクリブレース工事 (タンク解体)														2019年12月17日 G4北・G5エリアにおける高濃度タンクおよび中低濃度タンク撤去等について 実施計画変更認可		
			現場作業	G1エリアタンク設置														2019年12月17日 G4北・G5エリアにおける高濃度タンクおよび中低濃度タンク撤去等について 実施計画変更認可		
			現場作業	G4南エリアタンク設置														2019年8月2日 G1、G4南エリアタンク設置について実施計画認可 (原規発第1908024号) G1エリア 1356m <sup>3</sup> (66基) G1使用前検査済み (40/66基)		
			現場作業															2019年8月2日 G1、G4南エリアタンク設置について実施計画認可 (原規発第1908024号) G4南エリア 1356m <sup>3</sup> (26基) G4南使用前検査済み (10/26基)		
			2.5m盤の地下水移送	現場作業	<p>(予定・実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地下水移送 (1-2号取水口間) (2-3号取水口間) (3-4号取水口間)</li> </ul> <p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;3号機T/B屋根&gt;</li> <li>11/26 屋上ガレキ吸引開始</li> </ul>	3号機タービン建屋屋根対策														
						4号機海側: 2017年10月完了 3号機海側: ~2018年7月12日完了 1、2号機海側ヤード: 2018年8月~2019年1月 その他海側エリア: 2019年3月~2020年3月 3号T/B屋根対策ヤード整備: 2019年7月完了 3号T/B屋根ガレキ撤去作業: 2019年7月~2020年9月														
津波対策	現場作業	<p>○千島海溝津波対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>防犯堤設置</li> </ul> <p>(実績) 既設設備撤去・移設、造成嵩上げ、L型擁壁設置 約470m完了 (全長600m) (6月19日時点)</p> <p>(予定) 造成嵩上げ、L型擁壁設置、ボックスカルバート設置</p>	防犯堤設置																	
			<p>【区分①】 1~3T/B等2019年3月、全67箇所完了</p> <p>【区分②】 2、3R/B外部のハッチ等 (2019年3月~2020年3月、全20箇所完了)</p> <p>【区分④】 1~3R/B等 (2019年9月~2020年12月、5箇所/16箇所完了)</p> <p>【区分⑤】 1~4Rw/B、4R/B、4T/B (2020年3月~2022年3月、3箇所/24箇所完了)</p>																	
			<p>○3.11津波対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>建屋開口部閉止 (実績) 閉止箇所数 95箇所/127箇所 (6月19日時点)</li> <li>(予定) 外部開口閉塞作業 継続実施</li> </ul>																	
○3.11津波対策	現場作業	<p>メカフロート移設</p> <p>(実績) 着底マウンド造成:100%、バラスト水処理:100%、内部除染作業:100%</p> <p>メカフロート移設・仮着底: 100%</p> <p>内部充填作業 (約65%) (6月19日時点)</p> <p>(予定) 内部充填作業、護岸ブロック製作</p>	内部充填作業																	
			<p>着底マウンド造成: 2019年5月20日開始、2020年2月7日完了</p> <p>バラスト水処理: 2019年5月28日開始、2020年2月20日完了</p> <p>内部除染: 2019年7月16日開始、2020年2月26日完了</p> <p>メカフロート移設・仮着底: 2020年3月4日完了</p> <p>内部充填: 2020年4月3日開始、7月下旬完了予定</p>																	

水処理設備の運転状況, 運転計画  
(2020年6月26日～2020年7月9日)

2020年7月3日  
東京電力ホールディングス株式会社

多核種除去設備

	26(金)	27(土)	28(日)	29(月)	30(火)	1(水)	2(木)	3(金)	4(土)	5(日)	6(月)	7(火)	8(水)	9(木)
A	停止													
B	停止										←→			
C	停止										←→			

増設多核種除去設備

	26(金)	27(土)	28(日)	29(月)	30(火)	1(水)	2(木)	3(金)	4(土)	5(日)	6(月)	7(火)	8(水)	9(木)
A	←→	停止			←→								停止	←→
B	←→			停止		←→						停止		←→
C	←→	停止			←→	停止	←→							

セシウム吸着装置(KURION), 第二セシウム吸着装置(SARRY), 第三セシウム吸着装置(SARRY2)

	26(金)	27(土)	28(日)	29(月)	30(火)	1(水)	2(木)	3(金)	4(土)	5(日)	6(月)	7(火)	8(水)	9(木)
SARRY	←→													
SARRY2	停止													
KURION	停止 (滞留水の状況に応じて運転を計画, 実施)													

※ 現場状況を踏まえて運転するため, 計画を変更する場合があります。



福島第一原子力発電所の滞留水の水位について  
(2020年6月26日～2020年7月2日)

2020年7月3日  
東京電力ホールディングス株式会社

	原子炉建屋水位					タービン建屋水位				廃棄物処理建屋水位				集中廃棄物処理施設水位		
	1号機	2号機	3号機		4号機	1号機	2号機	3号機	4号機	1号機	2号機	3号機	4号機	プロセス 主建屋	高温焼却炉 建屋	サイトバンカ 建屋
			ホップエリア	南東エリア												
6月26日	-1850	-1765	-2078	-2088	-3141	-	-1443	-1327	-1479 以下	-	-1170	-1424	-1519 以下	-17	769	2703
6月27日	-1852	-1762	-2087	-2191	-3140	-	-1435	-1293	-1479 以下	-	-1156	-1556	-1519 以下	-63	769	2703
6月28日	-1856	-1756	-2080	-2198	-3136	-	-1425	-1277	-1479 以下	-	-1217	-1545	-1519 以下	-129	770	2704
6月29日	-1851	-1762	-2071	-2061	-3136	-	-1415	-1239	-1479 以下	-	-1199	-1532	-1519 以下	-202	770	2704
6月30日	-1854	-1776	-2071	-2228	-3134	-	-1398	-1208	-1479 以下	-	-1194	-1581 以下	-1519 以下	-149	339	2705
7月1日	-1854	-1779	-2068	-2033	-3131	-	-1383	-1185	-1479 以下	-	-1190	-1581 以下	-1519 以下	-80	-217	2705
7月2日	-1859	-1751	-2036	-2145	-3131	-	-1368	-1333	-1479 以下	-	-1180	-1581 以下	-1519 以下	70	-433	2705
最下階床面高さ	-2666	-4796	-4796		-4796	443	-1752	-1737	-1739	-36	-1736	-1736	-1736	-2736	-2236	-

備考欄

- ※ T.P.表記(単位:mm)
- ※ 5時時点の水位
- ※ 1号機タービン建屋の滞留水除去完了(2017年3月)
- ※ 1号機廃棄物処理建屋は水位計の測定下限値以下まで水位低下(2018年7月)
- ※ サイトバンカ建屋水位は、流入量調査のため一時的に水位計の測定下限値以下まで水位低下(2019年4月16日～)
- ※ 3号機原子炉建屋水位は、南東三角コーナー水位が停滞している事から水位変動を監視するため一時的に記載(2019年7月5日～)
- ※ 4号機タービン建屋水位は、水位計測定下限以下に水位低下したため記載を変更(2019年12月27日～)
- ※ 4号機廃棄物処理建屋水位は、水位計測定下限以下に水位低下したため記載を変更(2020年1月17日～)
- ※ 3号機廃棄物処理建屋水位は、水位計測定下限以下に水位低下したため記載を変更(2020年6月30日～)

各エリア別タンク一覧

東京電力ホールディングス株式会社

1~4号機用汚染水貯蔵タンク

タンク基数、水位、貯蔵量、実容量集約日 2020年6月25日

種別	基数	1基あたり容量(公称)(m3)	タンク型	貯蔵水	H水位(mm)	H容量/実容量(m3)	0%以下貯蔵量(m3)	0%以上貯蔵量(m3)	実容量(m3)	放射能濃度(Bq/cc)								測定時期	概略使用開始時期						
										水位管理				放射能濃度(Bq/cc)											
										水位(%) (最大値)	スロッシング考慮(%)	HANN(%)	HHANN(%)	Cs-134	Cs-137	Co-60	Mn-54			Sr-90	Ru-106	Sr-90			
C	26	40	鋼製角型タンク(溶接)	濃縮塩水	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	H23.6						
	52	40	鋼製角型タンク(溶接)	RO処理水(淡水)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	H23.8						
C東	5	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	S-処理水等(M)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	H25.7						
C西	8	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	S-処理水等(M)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	H25.5						
D	19	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	S-処理水等(C)	12936	1004	約210	12046	19078	67.0	95	88.7	90	1.4E+00	5.4E+00	8.2E-02	<1.9E-02	3.1E+00	<3.5E-01	4.4E+01	H27.3	H26.8			
	12	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	RO処理水(淡水)	12936	1004	約140	5974	12049	78.1	95	88.7	90	—	—	—	—	—	—	—	—	R1.11			
E	26	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	S-処理水等(A)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	H24.8			
	18	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	S-処理水等(C)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
	2	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	9880	1054	約500	2109	2109	19.4	95	96.3	98.9	2.7E+00	8.6E+00	3.0E+00	1.4E+00	3.7E+01	1.3E+01	3.8E+04	H27.2				
G1	72	100	鋼製横置きタンク(溶接)※土中埋設	RO処理水(淡水)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	H24.8			
G3東	24	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設)	9400	1069	約50	25416	25652	97.0	100	97.7	99	—	—	—	—	—	—	—	—	H25.4			
G3西	7	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備※1処理済水(既設)	9400	1012	約20	7038	7084	91.9	100	92.5	93.8	<1.0E-02	<7.2E-03	2.0E-02	<6.9E-03	2.4E-02	<2.8E-02	<1.5E+00	—	H28.1	H25.10		
	32	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	S-処理水等(C、R)	9400	1012	約40	3455	32382	18.4	100	92.5	93.8	<7.1E-01	2.7E+00	<2.0E-02	<6.9E-03	2.4E-02	<2.8E-02	<1.5E+00	—	H28.1	H25.10		
G3北	6	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設)	9400	1069	約10	6380	6413	97.2	100	97.7	99	—	—	—	—	—	—	—	—	—	R2.3		
G4北	6	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備処理済水(既設)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	H25.9		
G5	1	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備処理済水(既設)	9400	1060	約100	1060	1060	0.0	95	96.9	98.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	H25.12		
G6	38	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設・増設)	13674	1297	約30	48974	49303	97.5	100	97.7	99	—	—	—	—	—	—	—	—	—	H31.4		
G7	10	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設)	13415	690	約10	6700	6898	94.9	100	97.7	99	—	—	—	—	—	—	—	—	—	H26.12		
G1南	8	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(増設)	11920	1130	約20	8995	9042	97.1	99	97.6	98.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	H30.4		
	15	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設)	13664	1296	約30	19328	19442	97.0	99	97.6	98.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	H30.4		
G1	※2 40	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設・増設)	10796	1322	約100	48147	52875	97.3	100	97.7	99	—	—	—	—	—	—	—	—	—	R1.11		
G4南	※2 10	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設・増設)	10796	1322	約20	13140	13219	97.2	100	97.7	99	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	R2.3	
H1	63	1220	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設・増設・高性能)	10539	1190	約140	74443	74969	97.1	100	97.7	99	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	H27.3	
H1東	24	1220	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設・増設)	10539	1190	約50	27636	28560	94.6	100	97.7	99	<2.2E-04	6.0E-04	7.5E-04	—	<4.4E-04	<1.2E-03	9.7E-04	—	—	H30.2	H28.4	
H2	44	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設・増設)	11330	2331	約180	101555	102569	97.1	100	97.7	99	<1.8E-04	1.0E-04	3.8E-04	—	6.7E-04	<9.7E-04	4.6E-04	—	—	H30.4	H28.10	
H4北	35	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設・増設)	10366	1169	約80	40688	40931	97.2	100	97.7	99	<1.3E-04	1.7E-04	5.5E-04	—	4.7E-04	<1.0E-03	6.2E-03	—	—	H30.5	H29.7	
H4南	13	1060	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(増設)	13190	1034	約20	13424	13424	97.6	100	97.7	99	<1.5E-04	<9.0E-05	1.1E-03	—	6.8E-04	<1.1E-03	2.7E-04	—	—	H30.5	H29.12	
	38	1140	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設・増設)	13010	1112	約70	42035	42249	97.5	100	97.7	98.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	H30.4	
H6(I)	11	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設・増設)	10368	1169	約20	12772	12864	97.0	100	97.7	99	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	H30.8	
H6(II)	24	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設・増設)	10796	1322	約60	31560	31725	97.4	100	97.7	99	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	H30.12	
H5	32	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(増設)	10368	1169	約70	37101	37423	97.0	100	97.7	99	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	H30.9	
H3	10	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設)	10796	1322	約20	13151	13219	97.2	100	97.7	99	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	H30.11	
B	10	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設・増設)	13674	1297	約20	12888	12975	97.2	100	97.7	99	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	H30.12	
	27	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(増設)	13272	682	約30	17754	18413	97.0	100	97.7	99	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	H30.10	
B南	7	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(増設)	13674	1297	約10	9036	9082	97.2	100	97.7	99	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	H30.10	
H8北	5	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	S-処理水等(C)	9477	1069	約10	2122	5344	38.8	100	97.7	99	1.3E-01	5.7E-01	2.7E-01	3.6E-02	6.4E+00	—	2.2E+02	—	—	H27.3	H25.4	
H8南	11	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	S-処理水等(R)	9477	1069	約20	2527	11757	21.0	100	97.7	99	<5.1E-02	1.2E-01	2.1E-01	2.0E-02	3.8E+00	2.9E-01	9.1E+01	—	—	H27.3		
H9	5	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	RO処理水(淡水)	9880	1054	約310	272	5268	9.2	95	96.3	98.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	H23.8	
H9西	7	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	RO処理水(淡水)	9880	1054	約610	522	7375	9.4	93	96.3	98.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	H23.11	
J1	90	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設・増設)※1	9477	1069	約200	94630	96195	96.7	100	97.7	99	2.3E-01	1.1E+00	3.2E-02	<1.3E-02	4.4E-01	1.5E-01	1.3E+02	—	—	H28.1	H26.1	
	2	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(高性能検証試験装置)	9477	1069	約0	1125	2138	51.4	100	97.7	99	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—
	8	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	S-処理水等(C)	9477	1069	約30	117	8551	10.7	100	97.7	99	5.0E-01	2.2E+00	1.8E-01	<1.6E-02	7.1E-01	3.1E-01	6.2E+02	—	—	H28.1		
J2	42	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設・増設)	12151	2500	約170	103873	104999	96.5	99	97.2	98.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	H26.9	
J3	22	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設・増設・高性能)	12101	2490	約90	54442	54773	96.5	99	96.8	98.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	H26.10	
J4	30	2900	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設・増設・高性能)	12604	2829	約130	84699	84882	98.0	100	97.7	99	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	H26.10	
	5	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設)	11926	1131	約10	5501	5657	95.0	100	97.7	99	<3.3E-04	6.8E-04	5.9E-04	—	<4.4E-04	<1.2E-03	8.0E-04	—	—	H30.3	H28.2	
J5	35	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設)	12001	1137	約70	39556	39789	92.0	94	92.2	93.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	H26.8	
J6	38	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設・増設)	10366	1169	約90	44161	44431	97.1	99	97.6	98.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	H26.12	
J7	42	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設・増設・高性能)	10366	1169	約100	48858	49108	97.5	99	97.6	98.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	H27.9	
J8	9	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設)	10747	682	約10	6114	6138	97.5	100	97.7	99	<1.9E-04	7.4E-04	5.5E-04	—	<4.9E-04	<1.3E-03	8.3E-03	—	—	H30.2	H28.4	
J9	12	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備処理済水(既設・増設																					

汚染水等構内溜まり水の状況（2020.6.25時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m <sup>3</sup> )	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
1-1	2号機大物搬入口屋上	・2号機大物搬入口屋上	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【2階】 Cs134:<1.0E1 Cs137:2.1E1 全β:2.6E1 H3:1.0E2 (2015.11.2) 【1階】 Cs134:1.1E1 Cs137:4.0E1 全β:4.1E1 H3:1.1E2 (2015.11.2)	
1-2	2号機R/B	2号機R/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【上屋】 Cs134:200~340 Cs137:650~1100 全β:920~1900 Sr90:10~20 H3:ND(<100) (2015.1.16)	
2	5.6号機貯留タンク(フランジタンク)	・5.6号機貯留タンク(フランジタンク)	6号機北側	約9,700 (2020.1時点) <b>約10,500</b> <b>(2020.6時点)</b>	Cs134:1.7E0 Cs137:4.0E1 (2020.4.21)	5・6号建屋滞留水・RO処理水を貯留 (5・6号機建屋滞留水処理設備として運用中のため、量は変動する)
3	5.6号機貯留タンク(溶接タンク)	・5.6号機貯留タンク(溶接タンク)	6号機北側	約6000 (2020.3.12時点)	Cs134:7.7E0 Cs137:4.3E1 (2016.10.3)	5・6号建屋滞留水を貯留
4-1	吸着塔一時保管施設(HIC)	・吸着塔一時保管施設(第二施設、第三施設)	・吸着塔一時保管施設(第二施設、第三施設)	0 (ボックスカルバート内の水は拭き取り実施済み、HIC内上澄み水水抜き実施済み) (2018.9)	—	水抜き済
4-2	吸着塔一時保管施設	水処理二次廃棄物(SARRY、KURION、ALPS処理カラム、モバイル式処理装置)	吸着塔一時保管施設(第一施設、第四施設)	1程度(1基あたり)	Cs137:2.0E3~1.6E7 Sr90:5.3E3~4.3E7 (2017.2~2017.3)	
5	No.1ろ過水タンク(RO濃縮塩水/溶接タンク)	・No.1ろ過水タンク(RO濃縮塩水/溶接タンク)	屋外(タンクエリア)	0 (2015年8月水抜き完了)	—	過去、RO濃縮水を貯留 現在は水抜き済
6	4000tノッチタンク(角型タンク)	・4000tノッチタンク	タンクエリア	0 (2018.5.7時点)	【3000tノッチタンク】 撤去済 【1000tノッチタンク】 水抜き済	水抜き済
7	濃縮水タンク(蒸発濃縮装置濃縮水)	蒸発濃縮装置濃縮水用ノッチタンク(スラリー/濃縮水)	タンクエリア(Cエリア)	約65※1 (2019.2.1時点)	【蒸発濃縮装置濃縮水】 Cs134:1.7E4 Cs137:2.5E4 全β:4.7E8 (2011.12.20)	蒸発濃縮装置濃縮水を貯留 ※1:全5タンクの水量を 実測して算出
8	淡水貯留タンク(G1エリア地下タンク)	・淡水貯留タンク(横置きタンク)	タンクエリア	— (2017.8時点)	—	撤去済
9	5、6号機逆洗弁ピット及び吐出弁ピット	・5号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	5号機スクリーン近傍	約550	(2016.10.5) Cs134:ND Cs137:3.4E0	
		・6号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	6号機スクリーン近傍	約850	(2016.10.5) Cs134:ND Cs137:3.7E0	
		・5号機逆洗弁ピット	5号タービン建屋海側	約1,500	(2016.10.3) Cs134:3.0E0 Cs137:1.9E1	
		・6号機逆洗弁ピット	6号タービン建屋海側	約1,500	(2016.10.3) Cs134:1.5E0 Cs137:1.1E1	
10	1~4号機T/B屋根	・1号機T/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【1号機T/B上屋】 Cs134:1.4E1 Cs137:2.5E2 全β:2.9E2 (2018.4.25)	
		・2号機T/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【2号機T/B上屋】 Cs134:4.4E0 Cs137:4.8E1 全β:5.9E1 (2018.4.25)	



# 汚染水等構内溜まり水の状況（2020.6.25時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m <sup>3</sup> )	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
11	1号CSTタンク (溶接タンク)	・1号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約740 (2016.10.26)	Cs134: 2.9E+4 Cs137: 1.9E+5 全β: 2.2E+5 (2016.11.7)	RO処理水を貯留
12	2号CSTタンク (溶接タンク)	・2号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1850 (2020.3.19)	【CST入口水(淡水化装置出口水)】 (2020.3.3) <b>(2020.4.7)</b> H3: 7.5E5 <b>7.0E5</b> Sr90: ND <b>ND</b>  【2号CSTタンク貯留水】 Cs134: 1.6E+02 Cs137: 1.7E+03 (2018.12.14)	2020.3.18より炉注水源としての運用開始 (1~3号機CST炉注水ポンプ水源として運用中のため、量は変動する)
13	3号CSTタンク (溶接タンク)	・3号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1800 (2020.1.16)	全β: 1.5E+03 (2018.12.19)  【3号CSTタンク貯留水】 (2015.7.16) Cs134: 2.1E+3 Cs137: 8.0E+3	RO処理水を貯留 (1~3号機CST炉注水ポンプ水源として運用中のため、量は変動する)
14	4号CSTタンク (溶接タンク)	4号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	0	—	水抜き済
15	地下貯水槽	地下貯水槽No. 1	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 1.3E6 (2018.9.12)  (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 2.5E4 <b>1.0E4</b> (2020.4.7) <b>(2020.6.9)</b> H3: ND (2019.9.4)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
16	地下貯水槽	地下貯水槽No. 2	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 3.1E6 (2018.9.12)  (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 7.6E3 <b>7.8E3</b> (2020.4.8) <b>(2020.6.10)</b> H3: ND (2019.9.4)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
17	地下貯水槽	地下貯水槽No. 3	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 3.2E6 (2018.9.11)  (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 3.6E4 <b>1.8E4</b> (2020.4.17) <b>(2020.6.12)</b> H3: ND (2019.9.5)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
18	地下貯水槽	地下貯水槽No. 4	タンクエリア	—	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β: 2.8E4 (2018.9.12)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
19	地下貯水槽	地下貯水槽No. 5	タンクエリア	撤去完了	【使用実績なし(水張試験のみ)】 —	撤去済
20	地下貯水槽	地下貯水槽No. 6	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 7.8E6 (2018.9.11)  (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 4.5E1 (2019.9.5) H3: ND (2019.9.5)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
21	地下貯水槽	地下貯水槽No. 7	タンクエリア	—	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β: 1.5E2 (2018.9.12)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
22	1~4号建屋接続トレンチ	・1号機コントロールケーブルダクト ・集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト (2号機廃棄物系共通配管ダクト) ・1号機薬品タンク連絡ダクト 等	1~4号機周辺	約1~170 (2019.12)	Cs134: ND~4.2E2 Cs137: 2.5E2~6.9E3 全β: 2.2E2~3.4E3 H3: ND~3.5E3 (2019.12)	量及び放射性物質濃度の内訳は添付資料(1)「2019年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧」を参照

## 汚染水等構内溜まり水の状況（2020.6.25時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m <sup>3</sup> )	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
23	2～4号機DG連絡ダクト	・2～4号機DG連絡ダクト	2～4号機山側	約1600 (2019.12)	Cs134:1.1E1 Cs137:1.6E2 全β:1.9E2 H3:ND (2019.12.18)	
24-1	1号機海水配管トレンチ	・1号機海水配管トレンチ	1号機タービン建屋 海側	約400 (2019.12)	Cs134:ND Cs137:6.2E1 全β:9.3E1 (2019.12.20)	
24-2	2号機海水配管トレンチ	・2号機海水配管トレンチ	2号機タービン建屋 海側	0 (2019.8.2時点)	—	水抜き・充填済 (建屋接続部近傍を含む)
25-1	3号機海水配管トレンチ	・3号機海水配管トレンチ	3号機タービン建屋 海側	0 <sup>(注)</sup> (2015.7.30時点) (注)立抗D上部に水が無いことを 確認(2019.12.2時点)	—	充填済 (立抗D上部を除く) 立抗D上部充填作業一時 中断中
25-2	4号機海水配管トレンチ	・4号機海水配管トレンチ	4号機タービン建屋 海側	0 <sup>(注)</sup> (2015.12) (注)建屋接続部及び建屋接続部近 傍の開口部に水が無いことを確認 (2019.9.27時点)	—	充填済 (建屋接続部近傍及び建 屋接続部近傍の開口部 を含む)
26	3号機起動用変圧器ケーブルダクト	・3号機起動用変圧器ケーブルダクト	3号機山側	約830 (2019.12)	Cs134:4.8E1 Cs137:4.0E2 全β:4.4E2 H3:ND (2017.10)	
27	廃棄物処理建屋間連絡ダクト	・廃棄物処理建屋間連絡ダクト	プロセス主建屋北 側	充填完了		充填済
28	1-4号建屋未接続トレンチ	・2号機変圧器防災用トレンチ ・消火配管トレンチ(3号機東側) ・1号機主変圧器ケーブルダクト ・1号機廃液サージタンク連絡ダクト ・1号機オフガス配管ダクト 等	1-4号機周辺	約1～830 (2018.12)	Cs134:ND～2.3E1 Cs137:7.0E0～2.7E2 全β:5.4E1～7.2E2 H3:ND～1.7E3 (2018.11～2019.1)	量及び放射性物質濃度 の内訳は添付資料(2) 「2018年度トレンチ等内 溜まり水調査結果一覧」 を参照
29	1～4号機サブドレンビット No.15.16(未復旧ビット)	・サブドレンビットNo.15.16	1～4号機周辺 「未復旧」	約20	No.16 Cs134:1.5E4 <b>2.8E4</b> Cs137:2.8E5 <b>5.6E5</b> 全β:3.0E5 <b>6.2E5</b> H-3:9.3E2 <b>8.5E3</b> (2020.3.25) <b>(2020.5.20)</b>	
30	その他1～4号機サブドレン(ディー プウェル含む)(未復旧ビット)	・1号機～4号機サブドレン	1～4号機周辺 「未復旧」	約15/ビット	No.47.48 Cs134:ND～3.9E1 Cs137:4.8E1～9.6E1 全β:7.9E1～2.8E2 H-3:ND (2014.11.10)	

# 汚染水等構内溜まり水の状況（2020.6.25時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m <sup>3</sup> )	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
31-1	1～4号機逆洗弁ピット	・1号機逆洗弁ピット	1号タービン建屋海側	0 <sup>(注)</sup> (2019.12.5時点) (注)一部残水あり	(2018.12.17) Cs134:1.4E3 Cs137:1.7E4 全β: 2.0E4 H3: 1.6E2	一部残水を除き水抜き完了 充填作業中
		・2号機逆洗弁ピット	2号タービン建屋海側	0 <sup>(注)</sup> (2020.1.23時点) (注)一部残水あり	(2018.12.21) Cs134:3.9E1 Cs137:5.0E2 全β: 5.8E2 H3: 1.6E2	一部残水を除き水抜き完了
		・3号機逆洗弁ピット	3号タービン建屋海側	0 (2019.3.28)	—	水抜き・充填済
		・4号機逆洗弁ピット	4号タービン建屋海側	約1400 (2018.12.12)	(2018.12.12) Cs134:6.7E1 Cs137:8.2E2 全β: 1.0E3 H3: 1.2E2	
31-2	1～4号機吐出弁ピット	・1号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	1号タービン建屋海側	0 (2015.11)	—	水抜き・充填済
		・4号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	4号タービン建屋海側	0 (2015.10)	—	水抜き・充填済
32	1号機放水路 (出口を閉塞済)	・1号機放水路 (出口を閉塞済)	1～4号タービン建屋海側	約4200 (2018.12.17)	【放水路上流側立坑】 (2020.5.18) <b>(2020.6.22)</b> Cs134:3.5E1 <b>3.3E1</b> Cs137:4.5E2 <b>6.0E2</b> 全β: 5.3E2 <b>7.2E2</b> H3 :ND <b>ND</b>	
33	2号機放水路 (出口を閉塞済)	・2号機放水路 (出口を閉塞済)	2～4号機タービン建屋海側	約3600 (2018.12.14)	【放水路上流側立坑】 (2020.5.18) <b>(2020.6.22)</b> Cs134:4.6E1 <b>9.2E1</b> Cs137:8.9E2 <b>1.7E3</b> 全β: 1.2E3 <b>2.2E3</b> H3 :ND <b>ND</b>	
34	3号機放水路 (出口を閉塞済)	・3号機放水路 (出口を閉塞済)	3～4号機タービン建屋海側	約1600 (2018.12.17)	Cs134:5.0E1 <b>3.4E1</b> Cs137:6.9E2 <b>5.7E2</b> 全β: 8.3E2 <b>7.2E2</b> H3 :2.1E2 <b>1.5E2</b> (2020.4.8) <b>(2020.5.13)</b>	
35	キャスク保管建屋	・キャスク保管建屋	物揚場 西側	約4500	Cs134:7.2 Cs137:23 I-131:<4.3 Co-60:<4.2 全γ放射能:3.1E+1 (2014.5.23)	
36	5号CSTタンク (溶接タンク)	・5号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1100 (2020.1.10)	(2020.4.15) <b>(2020.5.13)</b> Cs134: ND <b>ND</b> Cs137: ND <b>ND</b> Co60: 3.5E2 <b>3.1E2</b>	プラント保有水を貯留 (プラント系統として運用 中のため量は変動する)
37	6号CSTタンク (溶接タンク)	・6号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1750 (2020.1.10)	(2020.4.9) <b>(2020.5.14)</b> Cs134: ND <b>ND</b> Cs137: ND <b>ND</b> Co60: ND <b>ND</b>	プラント保有水を貯留 (プラント系統として運用 中のため量は変動する)
38	5/6号他 トレンチ	・5号機海水配管トレンチ ・5・6号機スチームドレン配管トレンチ ・5号機重油配管トレンチ(東側) ・5号機放射性流体用配管ダクト ・5号機主変圧器ケーブルダクト 等	5～6号機周辺	約1～1900 (2015.10～2016.1)	Cs134:ND～2.2E2 Cs137:ND～9.9E2 (2015.10～2016.1)	





汚染水等構内溜まり水の状況（2020.6.25時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m <sup>3</sup> )	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
48	5, 6号機海側屋外既設タンク	SPTタンク(5~6号)	物揚場 北側	<タンク> 0 (2019.11.21) <雨仕舞> 0 (2019.12.5) <ポンプ室> 0 (2019.12.12)	—	水抜き完了
49	5号R/B西側ヤードドラム缶	ステンレス製ドラム缶(内袋付)	5号R/B西側 ヤード (水素ガストレー ラーエリア)	約13	Cs134: ND Cs137: 1.4E+1 Sr90: ND H-3: ND 全β: 1.1E+01 Co60: ND (2019.5.29)	

# タンク建設進捗状況

2020年7月2日

**TEPCO**

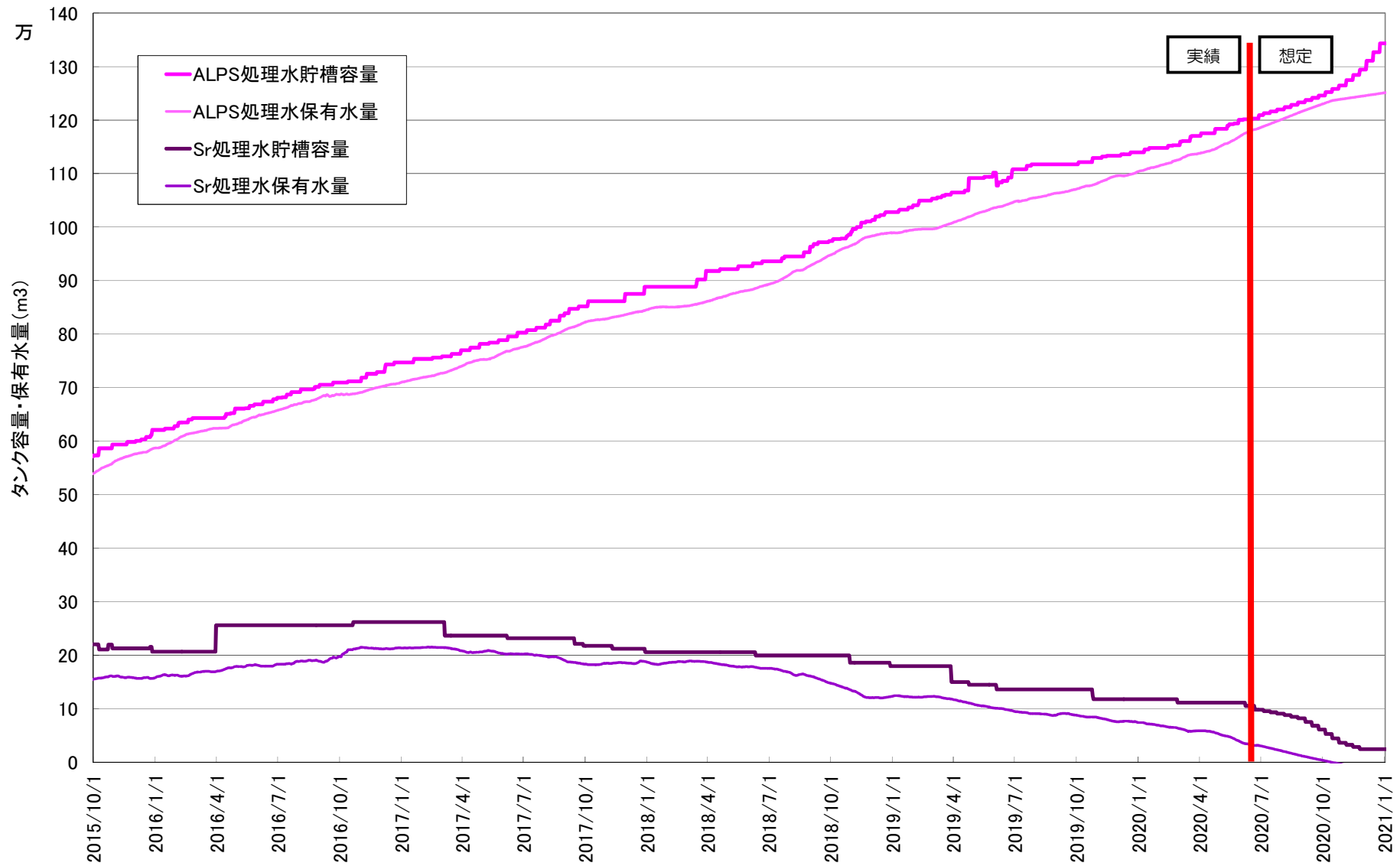
---

東京電力ホールディングス株式会社



# 1-1. タンク容量と貯留水量の実績と想定

水バランスシミュレーション（サブドレン他強化+陸側遮水壁の効果）

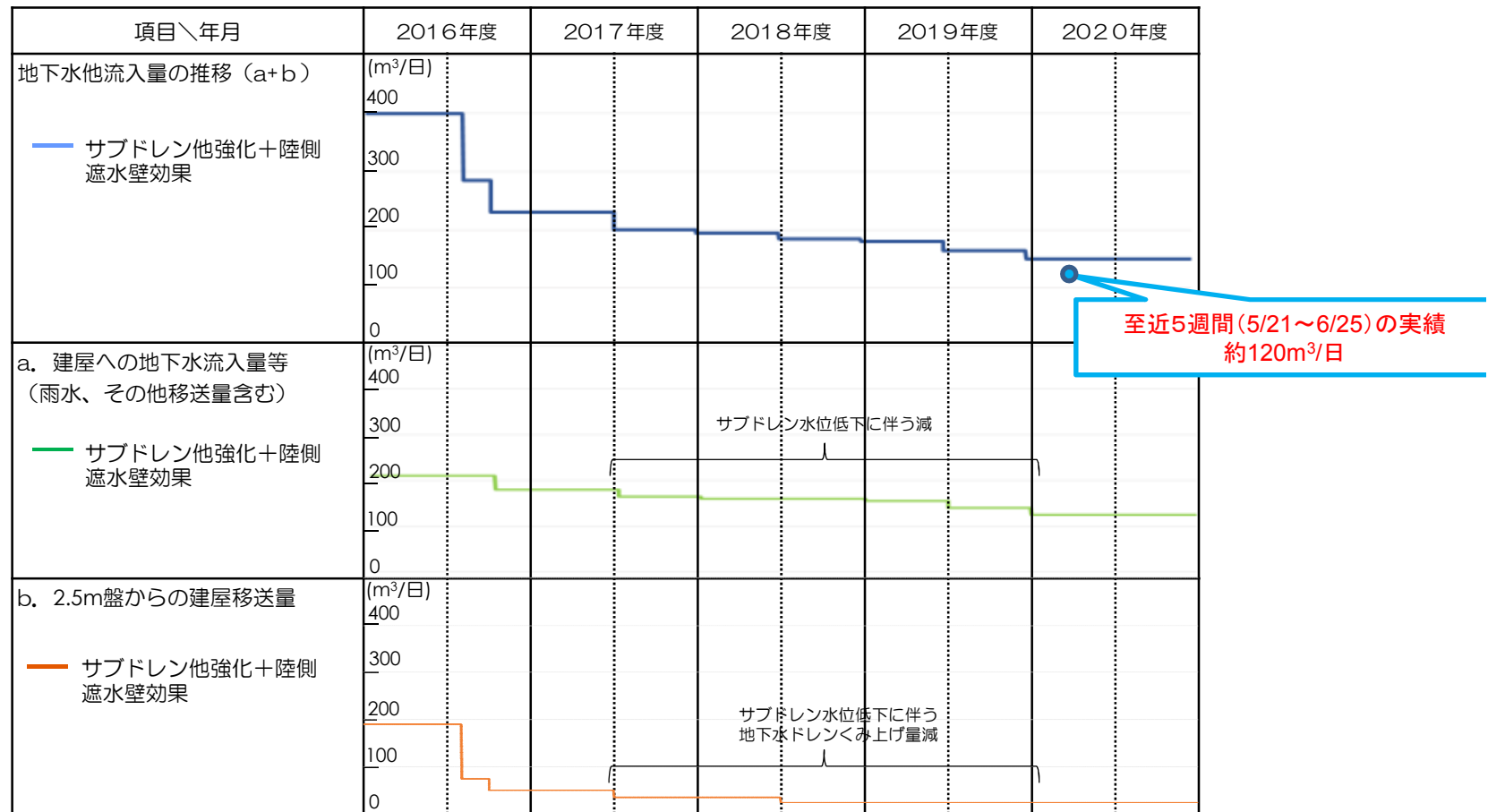


# 1-2. 貯留水量の想定に用いる地下水他流入量の想定条件と至近の実績



## 水バランスシミュレーションの前提条件

- サブドレン+陸側遮水壁の効果を見込んだケース



## 2-1. 溶接タンク建設状況

タンクリプレースによる溶接タンク建設容量の計画と実績は以下の通り（～2021年3月）

### 溶接タンクの月別建設計画と実績

下線は計画

単位：千m<sup>3</sup>

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
2019	26.9	10.0	31.0	9.1	0	0	11.9	4.0	6.6	7.9	5.3	10.6	123.3
2020	13.2	10.6	2.7	<u>6.6</u>	<u>7.9</u>	<u>7.9</u>	<u>11.9</u>	<u>15.9</u>	<u>5.3</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>82.0</u>

### タンク容量の確保計画と実績（全体※1）

	計画 (2020.12.31時点)	実績※2 (2020.6.25時点)	タンク容量確保目標 約810m <sup>3</sup> /日(約300m <sup>3</sup> /日※3) (2020/6/25～2020/12/31) [建設・再利用合計]
タンク総容量	約1,368千m <sup>3</sup>	約1,215千m <sup>3</sup> (約1,312千m <sup>3</sup> ※3)	

※1：水位計0%以下の容量（約2.1千m<sup>3</sup>）及び日々の水処理に必要なSr処理水用タンク（約24.7千m<sup>3</sup>（既設置））を含む

※2：「福島第一原子力発電所における高濃度の放射性物質を含むたまり水の貯蔵及び処理の状況について（第457報）」にて計算

※3：Sr処理水用タンクからALPS処理水用タンクとして再利用する分（約97千m<sup>3</sup>（既設置））を含む

## 2-2. タンク進捗状況

### 1. タンク建設・解体関係

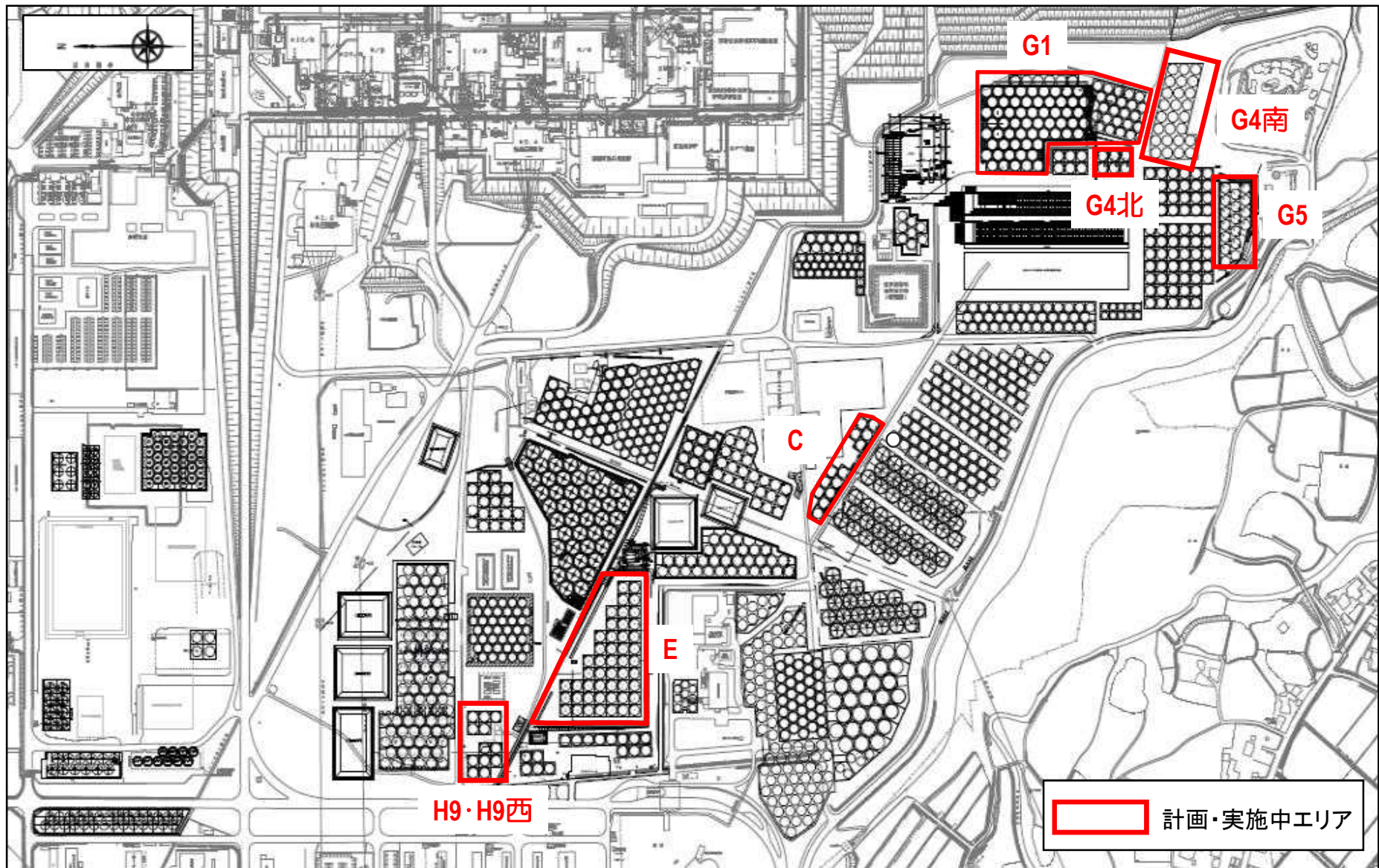
エリア	全体状況
C・E	C西：2019/10/27 フランジタンクの解体作業着手。 2020/4/27 フランジタンク解体・撤去完了。 C東：フランジタンクの解体作業中。 E：フランジタンクの解体作業中。
G1	2019/2/27 鋼製横置きタンク撤去完了。 2019/4/1 溶接タンク設置開始。 2020/2/3 基礎構築完了 タンク設置実施中。
G4南	2018/9/13 フランジタンクの解体作業着手。 2019/3/21 フランジタンク解体・撤去完了。 2019/12/1 溶接タンク設置開始 2020/3/4 基礎構築完了 タンク設置実施中。
G4北・G5	G4北：2020/5/14 フランジタンクの解体作業着手 G5：2020/7/2 フランジタンクの解体作業着手予定

### 2. 実施計画申請関係

エリア	申請状況
H9・H9西	タンク解体分 2020/4/16 実施計画変更申請 2020/7 補正申請予定



【参考】タンクエリア図



# 実施計画記載期限に関わる進捗状況について

---

2020年 7月 3日

東京電力ホールディングス株式会社

# 雨水処理設備等の先行運用について

## ■ 雨水処理設備等の先行運用について

- 現在、雨水処理設備等の一部は先行運用中であり、本設備の設置完了目途については、実施計画【2019年12月13日認可版】にて、以下のように予定している。

設備		設置完了目途
雨水移送ライン	実施計画の変更認可 (2018年5月) 範囲	設置完了
	実施計画の変更認可 (2018年5月) から 設計変更または新設する範囲	2019年度中 タンクエリア設置完了後1年以内目途
雨水RO濃縮水移送ライン		2020年度中※1

※1 淡水化处理RO膜装置雨水受入タンクから雨水RO濃縮水受入タンクまでの雨水RO濃縮水移送ラインについては、配管布設距離が非常に長く、新設タンクエリア設置等の多くの工事と干渉するので、設置時期が2020年度中となる。また、先行運用範囲外のモバイルRO膜装置雨水受入タンクから雨水RO濃縮水受入タンクまでの雨水RO濃縮水移送ラインの設置時期は、2018年度に設置完了している。

# 雨水処理設備等の先行運用について

項目		2018年度		2019年度		2020年度	
		上期	下期	上期	下期	上期	下期
雨水移送ライン	実施計画の変更認可（2018年5月）範囲 （2018年度設置完了）	設置完了済 【D, H1, K1北, K1南, K2, G3東, G3西 (G7), G5, J8, J9, H1東, H2, K3, K4, B南, G4北】					
	実施計画の変更認可（2018年5月）から設計変更または新設する範囲 （2019年度中設備設置予定）			タンク設置完了後に順次設置予定 【H3, H4北, H4南, H6 (I), G1南, G3北】 （2019年度中設備を設置）			
	実施計画の変更認可（2018年5月）から設計変更または新設する範囲 （タンク設置完了後1年以内目途に設備設置予定）			タンク設置完了後に順次設置予定 【B, G6, H5, H6 (II), 等】 （タンクエリアの設置完了後1年以内目途に設備を設置）			
雨水RO濃縮水移送ライン		淡水化RO濃縮水移送ライン 現場調査・現場設置、検査、試運転					

# 雨水処理設備等の先行運用について

## 本設設備設置時期（予定）

▼：タンク設置完了時期（予定）

□：計画

■：実績

ケース①	設置時期※	タンク設置完了時期（予定）	対象エリア		2019年度		2020年度	
			タンク堰	雨水回収タンク	上期	下期	上期	下期
タンクリプレース工事に伴う新設の汚染水タンク運用開始と同時に堰内雨水を処理する必要があり、PE管敷設が完了するまで先行運用が必要。	実施計画の変更認可（2018年5月）から設計変更または新設する範囲のうち、2019年度中設備設置予定	2019.9	H6(I)	H6(I)		▼		
		2019.6	H4北	H6(I)	▼			
		2019.8	H4南	H6(I)	▼			
		2019.8	H3	H1-1	▼			
		2019.4	G1南	G3西-D7	▼			
		-	G3北	G3西-D7	G4北解体に伴うリルート			
	実施計画の変更認可（2018年5月）から設計変更または新設する範囲のうち、タンク設置完了後1年以内目途に設備設置予定	2020.4	H5	H6(I)			▼	
		2020.4	H6(II)	H6(I)			▼	
		2019.10	B	B		▼		
		2020.4	G6	B			▼	



# 既設ROに係る設備の改造スケジュール

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
<b>【2018年度 工事】</b> 廃液RO供給タンク SPT受入水タンク RO濃縮水受タンク 樹脂ライニング	仕様確定、施工要領確定			
<b>【2019年度 工事】</b> RO-3 樹脂ライニング		2018年度分完了	ライニング工事	
タンク新設 バイパスライン工事	最適化検討 (※)	仕様確定	実施計画変更	使用前検査
			バイパスライン設置	
			タンク設置	
			ポンプ設置	

※最適化検討

- Cエリア(既設RO/蒸発濃縮装置廻り), SPT廻りは, 震災直後に設置した機器が輻輳しており, 新たな機器を設置するスペースがない状態
- 震災直後に設置した機器の更新等のためには, 撤去範囲, 工事の順番等の最適化検討が必要

# 1. 止水対策進捗状況 (1/2)

朱書き：変更点



## ■ 現状 (2020年7月3日 時点) の対策状況

< S T O P : 遮水特殊ポリマー保温 >

S r 処理水を内包した配管フランジ部：879 [箇所]				備考(前回報告時)
運用中	634箇所	堰内	195	195
		S T O P 施工済 (堰外)	439	439
		S T O P 未施工 (堰外)	0	0
運用終了	245箇所	水抜き済	245	231
		水抜き未	0	14

※高性能ALPS移送配管 水抜き完了 (31/31箇所)

上記移送配管のS T O P 施工済の箇所数：19/19箇所 設置完了

排水路付近の濡れ感知器設置済の箇所数：11/11 箇所 設置完了

A L P S 処理水を内包した配管フランジ部：986 [箇所]				備考(前回報告時)
運用中	343箇所	コーキング済	343	343
		コーキング未	0	0
運用終了	643箇所	水抜き済	325	325
		水抜き未	318	318

# 1. 止水対策進捗状況 (2/2)

## ■ 現状 (2020年7月3日 時点) の対策状況

- RO処理水内包配管フランジ部を反映
- コーキング処理全箇所完了

RO処理水を内包した配管フランジ部：174 [箇所]				備考	
運用中	174箇所	コーキング済		64	
		コーキング未	堰内	38	
		水抜き未	H9	72	アウトサービス待ち

## 2. 止水対策進捗スケジュール (1/3)

### ■ 2019年度対策対応実績

#### ➤ S r 処理水類内包配管漏えい防止対策（水抜き他）工程

	2019年度				2020年度			
	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3
高性能ALPSへの 移送配管水抜き	4月下旬水抜き完了 					現在		
Eエリアタンク 受払配管撤去	5月中旬配管撤去完了 							
Cエリアタンク 受払配管撤去		10月下旬配管撤去完了 						
STOP施工	2020年3月下旬STOP施工完了 							
上記以外の 枝管(運用終了)					水抜き完了 			

### ■ STOP施工

- 439/439箇所（濡れ感知器含む） 施工完了
- STOP施工前に面間測定とボルトの緩み確認を実施。STOP施工前に面間測定を実施していない箇所については、全数線量測定を実施し、BG同等であることを確認。

### ■ 枝管運用終了

- 245/245箇所 水抜き完了

## 2. 止水対策進捗スケジュール (2/3)

### ■ 2019年度対策対応実績

#### ➤ ALPS処理水類内包配管漏えい防止対策（水抜き他）工程



### ■ ALPS処理水内包枝管水抜き

#### ➤ 水抜き完了箇所数 325/643箇所

※ 水抜き予定範囲（運用終了）の「ALPS処理水配管から各エリアへの枝管」については、使用予定が発生するため、水抜き箇所および工程に関して調整中。

### ■ フランジ部コーキング処理

#### ➤ 343/343箇所 施工完了



## 2. 止水対策進捗スケジュール (3/3)

### ■ 2019年度対策対応実績

#### ➤ RO処理水類内包配管漏えい防止対策（水抜き他）工程

	2019	2020年											
	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
H9エリア水抜き					▼ 4月より水抜き開始, 2020年9月下旬迄に完了予定			現在					

### ■ 水抜き

- K1, K2エリアタンク再利用計画のため、現在水移送を実施中。
- 上記対応が完了次第、H9エリアの水抜きを実施予定。

# 建屋内における残水等の状況について

東京電力ホールディングス株式会社  
2020/7/3

No.	号機	建屋	対象エリア	区分	区分の判断日※1	運用目標値 /基準値(mm)	測定頻度	今回			1回前			2回前			最終排水実績	排水計画	床面(mm)	水位計の有無	水位調整不可能 予定時期	備考		
								確認日	水位	1回前との水位差(mm)	確認日	水位	2回前との水位差(mm)	確認日	水位	3回前との水位差(mm)								
1	1号機	T/B	電気マンホールNo.1	排水完了エリア	2017/7/5	T.P. 3.023	1回/月	2020/6/9	測定下限値以下	-	2020/5/11	測定下限値以下	-	2020/4/6	測定下限値以下	-	2019/10/28	-	T.P. 1.743	無	完了済	大雨警報発報時に、マンホール上部に水たまりや流入経路は目視にて確認できなかった。 大雨警報発報時に、マンホール上部に水たまりや流入経路は目視にて確認できなかった。		
			電気マンホールNo.2	排水完了エリア	2017/7/5	T.P. 2.293	1回/月	2020/6/9	測定下限値以下	-	2020/5/11	測定下限値以下	-	2020/4/6	測定下限値以下	-	2019/10/28	-	T.P. 1.743	無	完了済			
			主油タンク室	排水完了エリア	2017/7/5	T.P. 3.463	1回/月	2020/6/9	測定下限値以下	-	2020/5/11	測定下限値以下	-	2020/4/6	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 3.443	無	完了済			
			復水脱塩装置樹脂貯蔵タンク室	排水完了エリア	2017/7/27	T.P. 2.063	1回/3ヶ月	2020/5/11	測定下限値以下	-	2020/1/30	測定下限値以下	-	2019/10/28	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 2.043	無	完了済			
			ハウスボイラ室	排水完了エリア	2017/7/11	T.P. 2.250	1回/月	2020/6/9	測定下限値以下	-	2020/5/11	測定下限値以下	-	2020/4/6	測定下限値以下	-	2019/12/2	-	T.P. 943	有(露出)	完了済			
			ディーゼル発電機(B)室	排水完了エリア	2017/7/19	T.P. 1.926	1回/月	2020/6/9	T.P. 613	10	2020/5/19	T.P. 603	0	2020/5/11	T.P. 603	0	2020/2/26	2020/6/25	T.P. 543	有(露出)	完了済		水位が安定しているため、測定周期を1回/週→1回/月に戻す	
			床ドレンサンプ	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	-	2018/7/24	T.P. -454	-	2020/5/14	T.P. -78	-	2020/4/9	T.P. -184	-	-	-	-	-	有		完了済	
			機器ドレンサンプ	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	-	2018/7/24	測定困難※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無		完了済	
			復水ポンプ配管トレンチ	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	-	2018/7/24	T.P. -83	-	2020/5/14	T.P. 0	-	2020/4/9	T.P. -76	-	-	-	-	-	有		完了済	水位は仮設水位計にて計測
			復水ポンプピット(A)	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	-	2018/7/24	測定困難※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無		完了済	
復水ポンプピット(B)	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	-	2018/7/24	測定困難※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	完了済					
復水ポンプピット(C)	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	-	2018/7/24	測定困難※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	完了済					
給水加熱器ドレンポンピット(A)	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	-	2018/7/24	測定困難※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	完了済					
給水加熱器ドレンポンピット(B)	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	-	2018/7/24	測定困難※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	完了済					
11	2号機	Rw/B	LDT室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1.400	1回/月	2020/6/9	T.P. -6	30	2020/5/11	測定下限値以下	-	2020/4/6	測定下限値以下	-	-	-	T.P. -36	有(露出)	完了済			
12			FSST室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1.400	1回/月	2020/6/9	測定下限値以下	-	2020/5/11	測定下限値以下	-	2020/4/6	測定下限値以下	-	-	-	T.P. -36	有(露出)	完了済			
13			OGST室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1.400	1回/月	2020/6/9	測定下限値以下	-	2020/5/11	測定下限値以下	-	2020/4/6	測定下限値以下	-	-	-	T.P. -36	有(露出)	完了済			
14			床ドレンサンプト(A)	床面以下に貯留する残水	2019/4/22	-	-	2019/4/22	測定困難※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	完了済			
15			床ドレンサンプト(B)	床面以下に貯留する残水	2019/4/22	-	-	2019/4/22	測定困難※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	完了済			
16			高電導度廃液サンプ	床面以下に貯留する残水	2019/4/22	-	-	2019/4/22	測定困難※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	完了済			
17	2号機	T/B	低圧復水ポンプエリア	建屋貯留水	-	-	-	2020/6/12	T.P. -1,556 ※4	-	2020/5/14	T.P. -1,312 ※4	-	2020/4/9	T.P. -1,526 ※4	-	-	-	T.P. -1,752	無	-	復水器エリアと連通性有※2		
18			C/B(バッテリー室)	排水完了エリア	2018/1/31	T.P. 1.599	1回/月	2020/6/10	測定下限値以下	-	2020/5/12	測定下限値以下	-	2020/4/7	測定下限値以下	-	2018/1/26	-	T.P. 448	無	完了済			
19			C/B(電気品室)	排水完了エリア	2018/1/18	T.P. 1.664	1回/月	2020/6/10	測定下限値以下	-	2020/5/12	測定下限値以下	-	2020/4/7	測定下限値以下	-	2018/1/15	-	T.P. 448	有(露出)	完了済			
20			パッチ油タンク室	排水完了エリア	2018/3/26	T.P. 1.668	1回/月	2020/6/10	T.P. 558	0	2020/5/26	T.P. 558	0	2020/5/19	T.P. 558	0	2019/11/14	2020/6/30	T.P. 448	有(露出)	完了済	水位が安定しているため、測定周期を1回/週→1回/月に戻す		
21			スイッチギア室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1.400	1回/月	2020/6/10	測定下限値以下	-	2020/5/12	測定下限値以下	-	2020/4/7	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 448	有(露出)	完了済			
22			南西エリア	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1.400	1回/月	2020/6/10	測定下限値以下	-	2020/5/12	測定下限値以下	-	2020/4/7	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 448	有(露出)	完了済			
23			CD室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1.400	1回/月	2020/6/10	測定下限値以下	-	2020/5/12	測定下限値以下	-	2020/4/7	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 448	有(露出)	完了済			
24			消火ポンプ室(水位計設置箇所)	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1.400	1回/月	2020/6/10	T.P. 587	0	2020/5/26	T.P. 587	0	2020/5/19	T.P. 587	0	2020/2/3	2020/6/29	T.P. 448	有(露出)	完了済	水位が安定しているため、測定周期を1回/週→1回/月に戻す		
24			消火ポンプ室(ポンプ設置箇所)	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1.400	1回/月	2020/6/10	T.P. 548	0	2020/5/26	T.P. 548	0	2020/5/19	T.P. 548	0	2020/2/3	2020/6/26	T.P. 448	無	完了済	水位が安定しているため、測定周期を1回/週→1回/月に戻す		
25			ディーゼル発電機(A)室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1.400	1回/月	2020/6/10	測定下限値以下	-	2020/5/12	測定下限値以下	-	2020/4/7	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 448	有(露出)	完了済			
26	電気油圧式制御装置室	建屋貯留水	-	-	-	2018/1/31	測定下限値以下	-	2018/1/31	測定下限値以下	-	-	-	-	-	-	T.P. 448	無	-	復水器エリアと連通性有※2				
27	3号機	T/B	T/B地下階北東廊下	建屋貯留水	-	-	-	2017/12/25	測定下限値以下	-	2017/12/25	測定下限値以下	-	-	-	-	-	-	T.P. 463	無	-	復水器エリアと連通性有※2		
28			南西エリア	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1.400	1回/月	2020/6/11	測定下限値以下	-	2020/5/13	測定下限値以下	-	2020/4/8	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 463	有(露出)	完了済			
29			CD室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1.400	1回/月	2020/6/11	測定下限値以下	-	2020/5/13	測定下限値以下	-	2020/4/8	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 463	有(露出)	完了済			
30			ディーゼル発電機(A)室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1.400	1回/月	2020/6/11	測定下限値以下	-	2020/5/13	測定下限値以下	-	2020/4/8	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 463	有(露出)	完了済			
31			ディーゼル発電機(B)室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1.400	1回/月	2020/6/11	測定下限値以下	-	2020/5/13	測定下限値以下	-	2020/4/8	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 463	有(露出)	完了済			
32			電気油圧式制御装置室	排水完了エリア	2018/2/2	T.P. 1.725	1回/月	2020/6/11	測定下限値以下	-	2020/5/13	測定下限値以下	-	2020/4/8	測定下限値以下	-	2019/6/14	-	T.P. 463	無	完了済	11/7:10mm程水位低下が確認されたが、誤差によるものと判断した。		
33			消火ポンプ室	排水完了エリア	2018/3/20	T.P. 1.644	1回/月	2020/6/11	測定下限値以下	-	2020/5/13	測定下限値以下	-	2020/4/8	測定下限値以下	-	-30	2020/3/4	-	T.P. 463	有(露出)	完了済		
34			パッチ油タンク室	排水完了エリア	2018/3/20	T.P. 1.665	1回/月	2020/6/11	測定下限値以下	-	2020/5/13	測定下限値以下	-	2020/4/8	測定下限値以下	-	2019/11/19	-	T.P. 463	有(露出)	完了済			
35			C/Bエリア	建屋貯留水	-	-	-	2020/6/12	T.P. -1,557	-	2020/5/14	T.P. -1,577	-	2020/4/9	T.P. -1,589	-	2020/3/5	-	T.P. -1,737	有	完了済	継続した水位上昇を確認。継続して排水する措置を実施中。		
36			4号機	T/B	C/B(バッテリー室)	排水完了エリア	2018/2/15	T.P. 1.683	1回/月	2020/6/12	測定下限値以下	-	2020/5/14	測定下限値以下	-	2020/4/9	測定下限値以下	-	2018/1/24	-	T.P. 461	有(露出)	完了済	
37	C/B(電気品室)	排水完了エリア			2018/2/15	T.P. 1.636	1回/月	2020/6/12	測定下限値以下	-	2020/5/14	測定下限値以下	-	2020/4/9	測定下限値以下	-	2018/10/23	-	T.P. 461	有(露出)	完了済	10/23に移設した床面が露出したものの、翌日の水位測定で水位が元に戻っている		
38	パッチ油タンク室	排水完了エリア			2018/3/23	T.P. 1.622	1回/月	2020/6/12	測定下限値以下	-	2020/5/14	測定下限値以下	-	2020/4/9	測定下限値以下	-	2018/10/30	-	T.P. 461	有(露出)	完了済			
39	M/Cエリア	排水完了エリア			2020/2/7	T.P. 1.400	1回/月	2020/6/12	測定下限値以下	-	2020/5/14	測定下限値以下	-	2020/4/9	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 461	有(露出)	完了済			
40	南西エリア	排水完了エリア			2020/2/7	T.P. 1.400	1回/月	2020/6/12	測定下限値以下	-	2020/5/14	測定下限値以下	-	2020/4/9	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 461	有(露出)	完了済			
41	ディーゼル発電機(A)室	排水完了エリア			2020/2/7	T.P. 1.400	1回/月	2020/6/12	測定下限値以下	-	2020/5/14	測定下限値以下	-	2020/4/9	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 461	有(露出)	完了済			
42	電気油圧式制御装置室	建屋貯留水	-	-	-	2018/1/12	測定下限値以下	-	2018/1/12	測定下限値以下	-	-	-	-	-	-	T.P. 461	無	-	復水器エリアと連通性有※2				

※1: 現状の滞留水水位より床面が低く、将来的な水位低下によって孤立すると想定されるエリアについては、運転上の制限(建屋滞留水<サブドレン水位)を満足する時期で調査を行い、区分分けするように計画する。  
 ※2: 2018/3/8,2018/4/24 面談資料参照  
 ※3: 1号機タービン建屋は、現在、床ドレンサンプ内で水位管理を行っているため、T.P.443として管理(2018/4/6面談資料参照)  
 ※4: 連通のある復水器エリアの水位を記載

2020/6/12 0:00 時点の各建屋水位

	1号機			2号機			3号機			4号機		
	R/B	Rw/B	T/B※5	R/B	Rw/B	T/B	R/B	Rw/B	T/B	R/B	Rw/B	T/B
滞留水の水位	T.P. -1.873	T.P. 94	除去完了	T.P. -1.802	T.P. -1.285	T.P. -1.556	T.P. -1.967	T.P. -1.281	T.P. -1.466	T.P. -3.048	T.P. -1.520	T.P. -1.479
周辺サブドレン 設定値	T.P. -350	T.P. -350	T.P. -350	T.P. -350	T.P. -350	T.P. -350	T.P. -350	T.P. -350	T.P. -350	T.P. -350	T.P. -350	T.P. -350

※5: 1号機T/Bの最下階の床レベルはT.P.443mm



各建屋地下エリアの滞留水貯留状況

2020/7/3  
東京電力ホールディングス株式会社

水位安定エリア等については線量測定が実施出来た場合、測定結果を記載している。

※1: 1階床面より3m程度挿入した箇所での測定

※2: 作業エリアである1階床面で測定

※3: 孤立すると予想したエリアだが連通が確認されたため、建屋に貯留する滞留水のまま判断したエリア

- : 排水完了エリア
- : 露出したエリア※3
- : 孤立予定箇所
- : 床面以下に貯留する残水

